

利用の手引き

令和 3 年版



独立行政法人 国立青少年教育振興機構



国立花山青少年自然の家

令和3年1月改訂

目 次

I	国立花山青少年自然の家のあらまし	1
II	施設の利用にあたって	2
III	自然の家での生活について	9
IV	キャンプ場の利用と生活	14
V	活動プログラムについて	17
VI	活動プログラム一覧	22
VII	利用に必要な経費	29
VIII	物品の貸出しについて	35
IX	貸出用教材・教具一覧	36
X	朝・夕べのつどい進行表	37

資 料

施設周辺の概略図	41
キャンプ場見取図	42
施設周辺見取図	43
本館配置図	44
国立花山青少年自然の家 利用申込書	45
国立花山青少年自然の家 利用申込書の記入例	46
活動日程表	47
活動日程表の記入例	48
国立花山青少年自然の家 利用者一覧表	49
食事・教材等注文書	50
食物アレルギー対応連絡票	51
食物アレルギー対応連絡票の記入例	52
利用取消連絡票	53
電話番号一覧	54

I 国立花山青少年自然の家のあらまし

1 国立花山青少年自然の家は

豊かな大自然のもとで、青少年の自然体験活動や集団宿泊生活のための利用に供することにより、次代を担う心豊かで自主性に満ちた健全な青少年の育成を図ることを目的とした教育施設です。

2 国立花山青少年自然の家の教育目標

自主性に満ちた健全な青少年の育成を図るため、次のような教育目標を掲げ、その達成に努めています。

- (1) 自然の恩恵に触れ、自然に親しむ心や自然に対する畏敬の念を培う。
- (2) 規律、協同、友愛および奉仕の精神を養う。
- (3) 自然の中で心身を鍛え、自ら実践し、創造する態度を育てる。
- (4) 集団生活等をととして自主性・積極性・協調性の向上を図るとともに基本的生活習慣等を育成する。
- (5) 社会参加や社会貢献に対する意識および他者と関わる能力の向上を図る。
- (6) 郷土や国を愛する心や態度および国際理解の精神を養う。

3 施設の特徴

●立地環境

当施設は、宮城県西北端、仙台から約80キロメートルにある栗駒山系の御駒山西麓の標高322mに位置し、当所から北西16キロメートルの地点には宮城、秋田、岩手の県境を中心とした栗駒国定公園の中の主峰「栗駒山」があり、山麓一帯は国定公園に指定されています。

四季折々に色を変える草木や風が運ぶ小鳥のさえずりに自然の美しさを、そして一面銀世界に姿を変える冬の厳しさと、壮大な大自然の営みを見せてくれます。

活動エリアは、数多くの尾根と沢が八方に発達しており、起伏に富んだ傾斜地となっています。

また、当自然の家からは、船形連峰、花淵山等が、また御駒山山頂からは栗駒山、花山湖、遠く伊豆沼が展望できます。



所章

花山の頭文字「H」と東石楠花（あずましゃくなげ）の花びらをかたどり図案化したものであり、また、花びらが4枚なのは、国立の少年自然の家の設置順が第4番目の意味です。

・図案 初代庶務課長 松田靖夫氏



リック（マスコットキャラクター）

当青少年自然の家の周辺でよく見られることや、親しみやすいことからマスコットを「リス」とし、リスをイメージさせることや、野外活動のメインである登山、ハイキングに不可欠なリュックにちなみ、ニックネームを「リック」としました。

（平成9年2月19日制定）

Ⅱ 施設の利用にあたって

1 利用できる団体

国立花山青少年自然の家は、主に、小・中・高等学校等の集団宿泊学習などに利用されますが、家族や小グループ等、具体的な活動計画を持ち、二人以上の団体であればどなたでもご利用できますので、お気軽にご相談ください。

(1) 利用できる団体種別

- 小学校、中学校、高等学校、各種学校、大学等
- 保育園、幼稚園
- 官公庁、企業等
- 子ども会、スポーツ少年団、青少年団体、婦人会、PTA等
- 家族、小グループ、各種団体等
- その他所長が認める団体

(2) 主な利用目的

- 集団宿泊学習、自然体験、生活体験、オリエンテーション、リーダー研修、修学旅行等
- ゼミナール、サークルの合宿、部活動、勉強合宿、仲間づくり・親睦活動・新入社員研修等
- 国立花山青少年自然の家では、多彩なプログラムによる教育事業を行っていますので、電話等でお尋ねください。

(3) 施設使用料

① 学校、青少年団体※¹の施設使用料は**無料**です。

※¹ 青少年団体とは子ども会、スポーツ少年団などの青少年団体や青少年教育関係者の研修、その他の青少年教育の振興に関わる利用の場合です。また青少年※²がいる家族の利用も、青少年教育の振興・支援を図る観点から、施設使用料は徴収しません。詳しくは当施設までお問い合わせください。

※² 青少年とは、おおむね30歳未満をさします。

② 学校、青少年団体以外の一般利用については1泊毎に1人810円の施設使用料が必要となります。

③ 利用の目的、利用者の年齢構成などにより「青少年」か「一般」かを区分させていただきます。

2 利用できない団体

- 特定の政党を支持し、またはこれに反対するための政治教育その他の政治的活動を行う団体
- 特定の宗教を支持し、またはこれに反対するための宗教教育その他の宗教的活動を行う団体
- 専ら営利を目的とする活動を行う団体
- 自然の家の教育目標に反する活動を行う団体

3 利用の条件

- ① 成人または青年の引率責任者※が定められていること。
※高校生は引率責任者にはなれません。
- ② あらかじめ具体的な活動計画を定め、標準生活時間（P9）を守って活動すること。
- ③ 利用期間中の食事については、食中毒予防の観点から、自然の家食堂から提供する食事と食材（野外炊事メニュー）のみとすること。※食材の持ち込みはできません。

4 利用できない日

- 本館 : 12月28日から1月4日までの間
- キャンプ場 : 11月1日から4月30日までの間
- 南蔵王野営場 : 11月1日から4月19日までの間
- 施設・設備等整備の日（年間24日程度。詳細はお問い合わせください。）
- その他にも施設の改修等のため利用できない場合があります。

5 利用申し込み受付期間

【前年度事前申込】

小・中・高等学校、大学、各種学校利用

前年度に利用希望申込書※を9月上旬までに提出してください。

青少年団体等

前年度に利用希望申込書※を10月下旬までに提出してください。

家族・小グループ・一般利用

前年度の12月1日以降随時ホームページ、電話で受け付けています。

【通常申込】

希望する利用予定日と利用人数が決まりましたら、当施設までお電話（P54）いただき、空室状況をご確認ください。またホームページ（<https://shinriyou.niye.go.jp/hanayama/Vacancy/Index/>）でも空室状況を確認いただけます。

※利用希望申込書は前年度の7月下旬に当施設の利用経験がある学校および青少年団体に送付しております。申込書がお手元に届いていない場合は当施設までご連絡ください。また新規でご利用を検討している各種学校および青少年団体につきましては、当施設までお問い合わせください。

6 変更およびキャンセルについて

(1) 日程の変更およびキャンセルは利用の2週間前までに連絡をお願いします。ただし下記の場合は前日まで対応します。

- 台風や地震など自然災害に伴うキャンセル
- インフルエンザウイルスなどの集団感染に伴うキャンセル
- その他、突発的な事故等によるキャンセル

(2) キャンセル料について

施設使用料・シーツ代のキャンセル料は発生しませんが、直前のキャンセルの場合は、食事代、野外炊事等の食材代、教材費等については、キャンセル料をいただく場合があります。詳しくは注文時の留意点(P31)を参照ください。

(3) 人数の変更について

- ・お申込み時より人数が大幅に増え、宿泊室に空きがない場合、ご利用が難しくなることがあります。人数変更については分かった時点で早めにご相談ください。
- ・お申込み時より人数が大幅に減った場合は、宿泊室の数を減らせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・直前の人数変更の場合、食事代、野外炊事等の食材、教材費等については、キャンセル料をいただく場合があります。詳しくは注文時の留意点(P31)を参照ください。

7 本所のマイクロバス（28人乗り）の利用について

10人以上で、当施設をご利用の場合、最寄りのバス停（富ノ原）、JR駅（池月）までをマイクロバスにて送迎しますので、ご利用を希望する場合は事前にお問い合わせください。

なお、ご希望が多数の場合など、ご利用いただけないこともあります。

また、原則として4月～9月までは運行できません。あらかじめご了承ください。

8 利用申し込み手順

国立花山青少年自然の家を利用するには、次のような手続きが必要です。

(1) 利用状況の確認

希望する利用予定日と利用人数が決まりましたら、当施設までお電話（P54）いただき、利用状況および空室状況をご確認ください。またホームページ（<https://shinriyou.niye.go.jp/hanayama/Vacancy/Index/>）でも空室状況をご確認いただけます。

(2) 申込み

利用が可能であれば、お電話またはweb申込みにて、利用の予約を承ります。

(3) 当施設からの連絡

当施設から「利用承諾書」を送付します。予約内容をご確認ください。

(4) 事前打合せおよび実地踏査

施設を安全かつ有効に活用していただくために利用の1～2か月前までに、事前打合せや活動場所の実地踏査をお願いします。なお、事前打合せにはお電話での予約が必要となります。

＜打合せ内容＞ ●活動プログラムの内容

●生活の仕方、施設の利用の仕方

●活動コースや施設見学等へのアドバイス

事前打合せや実地踏査の実施が難しい場合は、電話でのご質問・ご相談にも応じますので、お気軽にお尋ねください。また、ホームページや利用の手引き等でご利用方法を十分にご理解ください。

(5) 書類の提出

ご利用にあたり、下記の書類を期日までFAX、メール、郵送のいずれかでご提出願います。

① 「利用申込書」・「活動日程表」

提出期限：**ご利用日の1ヶ月前まで** 提出先：国立花山青少年自然の家事業推進係

② 「食事・教材注文書」

提出期限：**ご利用日の1ヶ月前まで** 提出先：国立花山青少年自然の家食堂（株式会社 寿食品）

③ 「利用者一覧表」

提出期限：**ご利用当日まで**

④ 「食物アレルギー対応連絡表」

アレルギー対応が必要な場合は、**利用の2週間前まで**

提出先：国立青少年自然の家食堂（株式会社 寿食品）

⑤ 「利用取消連絡票」

利用をキャンセルする場合は、**利用の2週間前まで** 提出先：国立花山青少年自然の家事業推進係
上記書類の様式は手引きP45～P53、または当施設ホームページよりダウンロードすることができます。
（各種ダウンロード：<https://hanayama.niye.go.jp/download>）

(6) 利用調整の連絡

ご利用の2週間前には提出いただいた活動日程表をもとに、当施設の担当職員が宿泊室・活動内容・活動場所・つどい等について電話・FAX等で団体の責任者に、連絡・確認させていただき、利用当日を迎えます。

9 到着と出発の事務手続きについて

到着

- (1) 自然の家に到着しましたら、団体の代表者は事務室で事務手続きをしてください。
- (2) 事務室での受付時間は8時40分から16時までとなっております。
- (3) 交通機関の関係などで時間外の到着となる場合は、あらかじめご相談ください。
- (4) 到着の事務手続き

・手続きには10分程度お時間がかかります。

- | | | |
|-------------------|-------------|---------------|
| ①利用者名簿の提出と利用者数の確認 | ②宿泊室、下足棚の確認 | ③利用期間中の経費の確認 |
| ④活動場所、活動内容の確認 | ⑤アンケート用紙の説明 | ⑥その他利用についての確認 |

以上6項目について手続きと確認を行います。

- (5) 食事数等の確認

事務室での到着手続きが終了しましたら、食堂事務室に移動いただき、利用期間中の食事数等をご確認ください。

出発

- (1) 出発前までに団体の代表者は事務室で手続きをしてください。
- (2) 事務室での対応時間は8時40分から16時までとなっております。
- (3) 出発の事務手続き

- ① 経費確認書、アンケートの提出。
- ② 施設使用料とシーツ等洗濯費用および講師指導に係る経費の請求書を受領してください。

詳しくはP29をご覧ください。また出発日以降、請求書の内容を変更することができませんので、支払方法と分割枚数の内容を確認のうえ、お申し出ください。

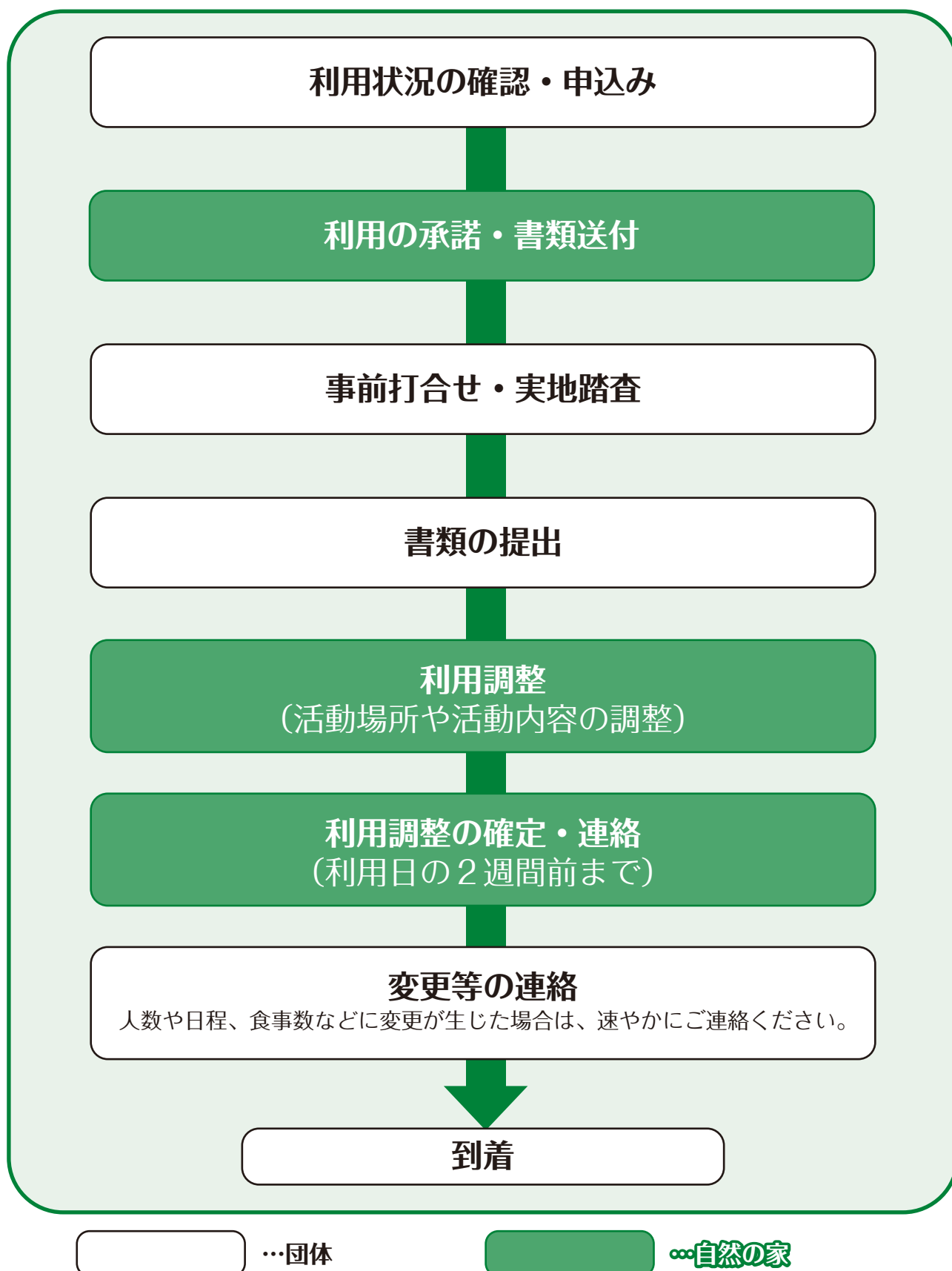
- ③ 借用物品の返却

以上3項目について手続きと確認を行います。

- (4) 食事代・教材費等の支払いについて
食堂事務室にて、支払い手続きをしてください。

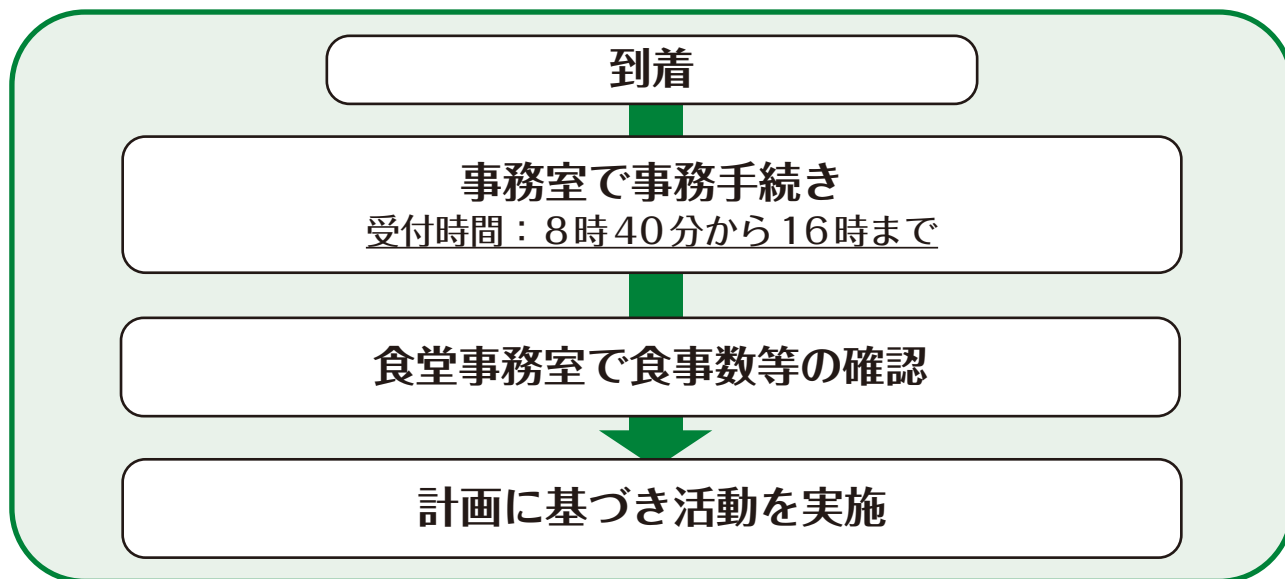
利用申込みから到着までの手順

◆詳細は P5 をご参照ください。



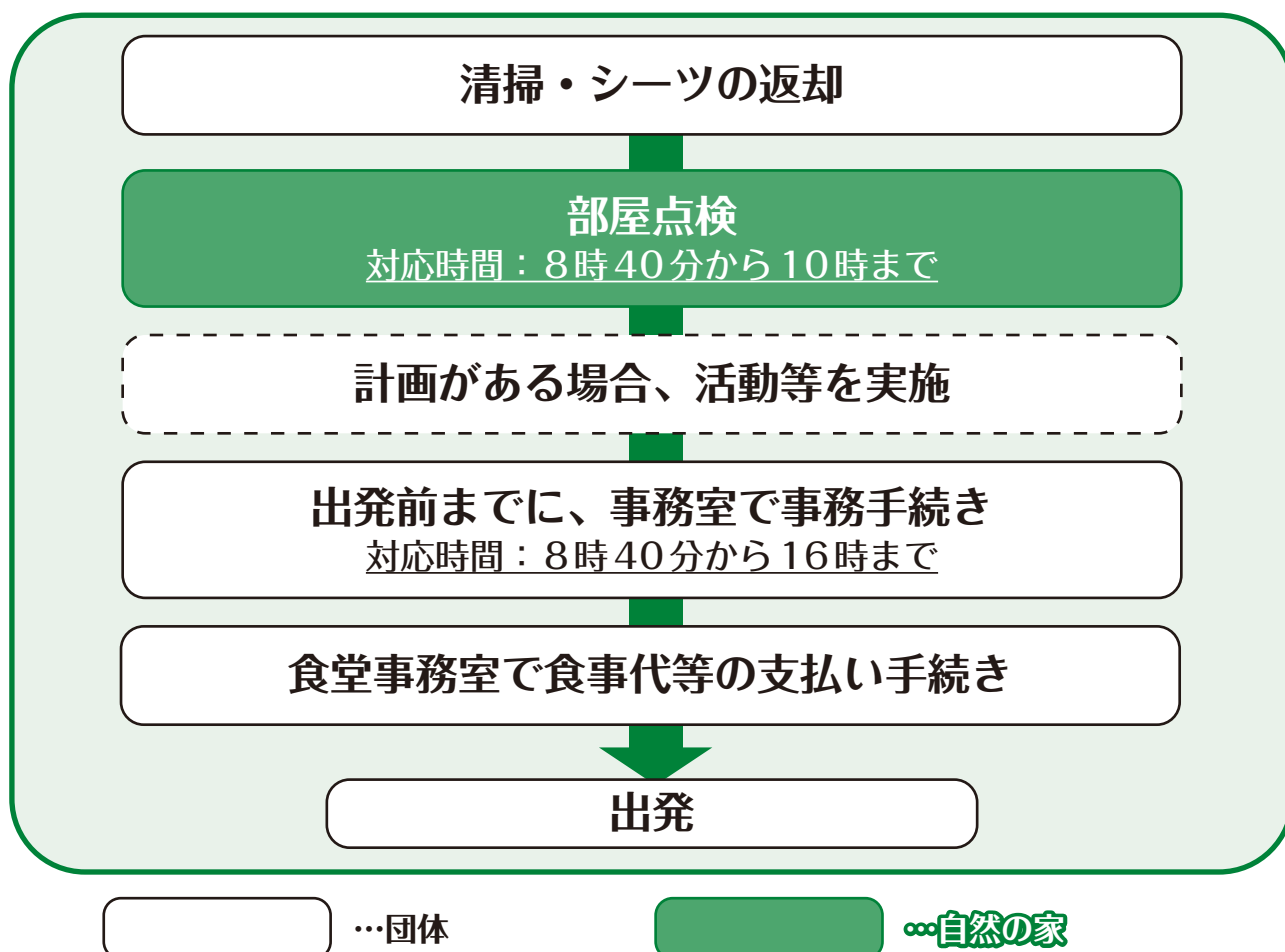
到着日の手順

◆詳細は P6 にある「到着」の項をご参照ください。



出発日の手順

◆詳細は P6 にある「出発」の項をご参照ください。



Ⅲ 自然の家での生活について

国立花山青少年自然の家では下記のとおり標準生活時間を設けています。

ご利用の皆様には、この標準生活時間を参考にして活動計画を作成いただきます。

1 標準生活時間

6	30	7	15	30	8	9	10	11	12	13	30	14	15	16	20	17	30	18	30	19	20	21	50	22
		起床	朝のつどい	7:15から	朝食			午前の活動		昼食			午後の活動		代表者打合せ	夕べのつどい	夕食			夜の活動				
																				18:30-21:50 入浴				就寝

活動計画作成にかかる留意点

(1) 原則として食事・入浴時間はこの時間内にお願いします。

〔注〕夏休み期間中に限り、入浴時間は17時30分から21時50分までとなります。

(2) 「朝のつどい」・「夕べのつどい」は、参加を原則としています。活動に支障のない限り参加していただきます。

(3) 22時から翌朝6時30分までは館内を施錠しております。この時間は無断での出入りを禁止しております。

(4) 起床時間は6時30分となっておりますので、起床時間前の清掃や他団体への迷惑になるような行動はお控えください。

(5) ご利用いただいたお部屋は、出発日の8時40分から10時までに、部屋の点検を受けるようにしてください。

2 生活の仕方

(1) 代表者打合せ

毎日16時20分から「事務室前ロビー」で各団体の代表者（引率者）による打合せを行います。必ず参加してください。

＜打合せ内容＞ ●活動内容、場所の確認 ●夜間の連絡体制 ●つどいの確認 ●非常時の体制
●食事、入浴時間の調整と確認 ●その他

(2) つどい（朝のつどい 7:15～、夕べのつどい 17:00～）

① 「つどいの広場」で行います（雨天時、冬期間はプレイホールで行います）。

② 職員の指導のもと、利用団体が主体的に行ってください。係の分担については、事前に割り振りをし連絡します。当番団体は、次の係を決めておいてください。

＜係＞司会者（1～2人）、旗係（国旗2人、所旗2人）

＜内容＞ ●ラジオ体操（朝のつどいのみ） ●国旗、所旗の掲揚（降納） ●団体紹介または活動紹介
●諸連絡

(4) 入 浴

- ① 男女別の表示を確認してください（男性：青のれん、女性：赤のれん）。
- ② 入浴の際は、足元に注意し、飛び込みは絶対にしないでください。
- ③ リンスインシャンプー、ボディソープを備え付けております。
- ④ 脱衣場にヘアドライヤーは備え付けておりません。なおヘアドライヤーを持参する場合は、宿泊棟の洗面所で1台のみご使用をお願いします。
- ⑤ 浴室や脱衣所に忘れ物がないようにご注意ください。忘れ物があった場合は、浴室前のテーブルに置いておきます。
- ⑥ 浴室は、「山の湯」（約60人）、「花の湯」（約40人）、「星の湯：バリアフリー」（4人）があります。「星の湯」の利用を希望する場合は、16時20分からの代表者打合せにてお申し出ください。
〔注〕入浴時間は、18時30分から21時50分までです。ただし、「夏休み期間中」は、17時30分から21時50分までです。当日の利用時間については、16時20分からの代表者打合せにて調整させていただきます。（P9）

浴 室



星の湯



脱衣場



(5) 飲食について

親睦や交流を目的とした飲食については、場所および時間を指定させていただきます。事前に懇親会等として利用申込書の活動プログラムに記入ください。懇親会等の時間は、19時30分から21時30分とさせていただきます。詳しくは、P33を参照ください。

また、**宿泊室での飲食は、衛生上の理由からご遠慮いただいております。**

(6) 清 掃

- ① 清掃範囲、清掃道具は、各部屋に表示してありますので、確認してください。
- ② 次に使う人のために、「来た時よりも美しく」を心がけご利用ください。

(7) ゴミ処理

- ① 持ち込んだものから出たゴミは、お持ち帰りください。（持ち帰りが原則です。）
- ② 生活や活動で出たゴミ・野外炊事や弁当のゴミ等は、分別収集にご協力ください。

[生活や活動中に出た燃えるゴミ]	→ゴミ置き場（地階プレイホール入口付近）へ（P44 参照） ・少量の場合：そのまま燃えるゴミ置き場①に設置してあるゴミ箱へ ・大量の場合：指定のゴミ袋に入れてゴミ置き場①へ
------------------	--

[野外炊事・弁当]	→利用者玄関下の食堂のゴミ置き場へ（P44 参照） ＜食堂から配付されるゴミ袋を使用する＞ ・野外炊事の食材ゴミ（燃えるゴミ置き場②へ） ・弁当容器等のゴミ（燃えるゴミ置き場②へ） ・生ゴミ・残菜（ゴミ袋をポリバケツに入れたまま生ゴミ置き場へ） ・ペットボトル等（キャップとラベルを外して燃えるゴミ置き場②へ）
[売店・自動販売機]	→自動販売機に備え付けのゴミ箱へ（3種類のゴミ箱へ分別する。） ・アルミ缶・スチール缶 ・ペットボトル（そのままゴミ箱へ） ・紙類（アイスの包装）

③ 栗原市指定ゴミ袋は、食堂売店で購入できます（1 袋 30 円）。

※必ず栗原市指定のゴミ袋を使用してください。（各自治体のゴミ袋は不可）

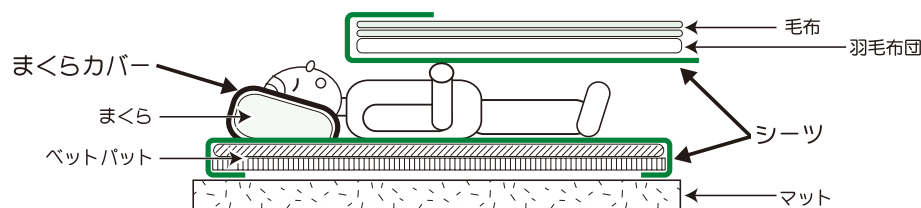
④ 食堂でご注文いただいた野外炊事・弁当については、ゴミ袋がついてきます（無料）。

(8) ベッドメイキング

① 枕を、枕カバーに入れる。

② ベッドパットの上にシーツ2枚を重ねて敷く。

③ 羽毛布団と残りの毛布をかけ、2枚敷いたシーツの1枚は、頭の部分を折り返し、シーツとシーツの間に寝る。



①気温によって毛布の枚数を調節してください。

ベッドパットの上に敷いて使うこともできます。羽毛布団の上に毛布をかけると保温性が高くおすすめです。

②夏休み期間中の寝具は、毛布が2枚となります。
(7月中旬～8月下旬)

(9) 健康および安全

① 利用前、利用中、利用後も健康状態の観察を行い、適切な指導をしてください。

② 健康等に心配な点がある場合は、事前にご相談ください。また、アレルギー等で食事についても心配がある方は、ご利用の2週間前までに食物アレルギー対応連絡表にて自然の家食堂へご相談ください。

[食物アレルギー対応連絡表（巻末資料P51）]

③ 専用の医薬品があれば、必ず持参してください。

④ けが人や急病人・事故等が発生した場合や途中で帰る場合は、すぐに事務室にご連絡ください。

⑤ 深夜における急病等の場合は、宿直者（内線23）に連絡、または直接事務室前の宿直室へお越しください。

⑥ 各団体にて緊急車両をご準備ください。

⑦ 非常時の避難等

ア. 自然の家到着後、必ず非常口・緊急避難場所（P43、44）の確認をしてください。

イ. 火災等により、避難の必要があると判断した場合は、緊急非常全館放送によりその旨を連絡します。
放送の指示に従って、緊急避難場所へ安全に避難してください。

(10) その他

- ① 火の取扱には十分注意してください。
- ② 館内は、すべて禁煙です。喫煙は館外に設置された指定の喫煙所をご利用ください。
- ③ 宿泊室は施錠できませんので、貴重品は盗難防止のため宿泊棟入口にある無料のコインロッカー（リターン式）をご利用ください。
- ④ 忘れ物については遺失物法に基づき処理させていただきます。
そのため、当施設ご利用の際には、お忘れ物がありませんようご注意くださいとともに、持ち物には必ずお名前の記入をお願いいたします。
- ⑤ 節水、節電等、省エネにご協力ください。
- ⑥ 館内の水道水は全て飲むことが可能です。
- ⑦ 館内の暖房期間は、11月1日から4月30日です。
宿泊室の通気時間は下記のとおりです。
 - ・ 朝 6時から9時
 - ・ 夕方 17時から22時なお、施設の利用状況により、通気時間が変更となる場合があります。
また、熱効率を上げるために17時以降はカーテンを閉めてください。
- ⑧ 設備や用具等を紛失・破損した場合は、原則として弁償となります。
- ⑨ 館内は上履きで活動してください。
- ⑩ ペットの同伴はご遠慮ください。

(11) 保険について

●賠償責任保険（レジャーサービス費用特約）

自然の家が施設で加入している保険があります。施設利用中でのけが等による入院・通院に対してお見舞金が支払われます。

- ㊟施設利用中（野外活動コース含む）のみが保険の対象ですので、自然の家までの往復時の事故には適用されません。
また、あくまでも見舞金程度のもので、団体での任意保険については別にご検討ください（重複しての加入でも問題ありません）。

(12) 近隣病院について

P54をご確認ください。

Ⅳ キャンプ場の利用と生活

1 環境

国立花山青少年自然の家キャンプ場は、本館から約2km離れた標高240mの場所にあります。
利用期間中は原則1団体のみの単独利用となります。

2 利用できる人数

- ドーム型テント 6人用×20張＝120人
- バンガロー（丸太小屋）6人用×8棟＝48人

約170人程度まで宿泊可能です

3 生活に当たって

- ① キャンプ場には管理人がおりませんので、団体の引率者は施設の管理をお願いします。
- ② 1日の生活・活動を独自に計画・実施できます。
- ③ 1日の活動終了確認のため、本館事務室への電話連絡を21時30分をお願いします。

4 キャンプ場利用の到着と出発の手続きについて

到着

- (1) 到着しましたら本館事務室にて到着の手続きをしてください。（P6参照）
- (2) キャンプ場へ移動し、施設の使い方について職員から説明を受けてください。

出発

- (1) 清掃、点検後に本館事務室まで連絡してください。
- (2) 職員による点検を行います。
- (3) 本館事務室にて出発の手続きをしてください。（P6参照）

5 経費

- (1) 施設使用料、食事（野外炊事）、教材費は、本館利用と同額です。詳しくはP29を参照ください。
- (2) 寝袋用シーツ等洗濯費用（1人240円税込）がかかります。

6 施設設備の使用法

(1) 施設・設備

① 管理棟

1階	管理室（引率者のミーティングに使用可能） 休憩室（急病人等の休養に使用可能） 用具収納庫（テント、炊事用具、シーツ、冷凍、冷蔵庫等）
2階	避難・集会室（荒天時の避難、キャンドルサービス、集会活動等に使用可能）

② シャワー棟（1棟） 男女別シャワー 8台（トイレ各1つ付き）

③ トイレ棟（1棟） 男女別

④ 屋根付炊事場 1箇所・かまど30台

⑤ 水場 3箇所

⑥ バンガロー 8棟

⑦ 営火場 1箇所

⑧ テントサイト 1箇所

(2) 貸出用具

① 用具の貸出・返却

ア. キャンプ場に常備してある用具は、利用初日の到着時に職員が貸出し、引率者に説明を行います。

イ. それ以外に必要な用具については、その都度ご相談ください。

ウ. 活動が終了し、用具を返却する時は、個数を確認の上、もとの位置に戻してください。

エ. 用具等を破損・紛失した場合は、本館事務室に連絡してください。

オ. 使用したシーツは、所定の場所に枚数を確認の上、戻してください。

② 貸出用具

	用具名	個数		用具名
テント類	ドーム型テント（6人用）	20	その他	のこぎり スコップ ペンチ 蚊取り線香容器 ロープ
	寝袋	200		
	ランタン	20		
	マット	200		
炊事用具	釜・なべ・鉄板	各20		
	どんぶり・皿	各200		
	しゃもじ	20		
	まな板・包丁・ボール	各40		
	はし・スプーン等	各200		

※ランタンの電池は各団体で用意してください。ランタン1個あたり単一電池4本。

(3) テントの設営・撤収

<テント1張分の用具>

●テント本体 ●フライシート ●ポール（1セット） ●ペグ（16本） ●ハンマー（2本）

<設営>

- ① 設営の前に必要な用具・個数を点検してください。
- ② 設営に当たっては、溝を掘らないでください。

<撤収>

- ① テントが夜露で濡れている場合は、乾いてからたたんでください。
- ② 雨天時は、本館事務室に連絡し、撤収方法をご相談ください。
- ③ 泥が付いた場合は、ほうきできれいにしてください。
- ④ ペグやハンマーは、個数を確認し泥を落としてから戻してください。

(4) 野外炊事

- ① 食材料は、昼食の場合10時～11時、夕食と翌日の朝食の場合は13時～14時頃に食堂従業員がキャンプ場に運びます。内容の確認と冷蔵庫等への保管を行ってください。
- ② 炊事用具は、きれいに洗った後、個数を確認してから戻してください。
- ③ 食中毒が発生した場合に原因の早期究明を行い、迅速な対応を行うため、検食の提出をお願いします。（検食は、キャンプ場冷凍庫にて保存。詳しくはP32^注7を参照ください。）
※食中毒予防の観点から、食材の持ち込みを禁止しています。

(5) シャワー棟の使用について

- ① シャワー棟の利用時間は、17時から21時までです。
- ② 環境保全のため、節水にご協力ください。
- ③ 湯温には十分気をつけてください。
- ④ 他の団体が気持ちよく使えるよう、シャワー棟内の清掃（棟内・排水溝・ゴミ箱等）をお願いします。

(6) 火気の取扱

- ① 所定の場所以外では、焚き火はしないでください。
- ② 火を使用する場合は、引率者の責任で完全に消火してください。
- ③ 灰は、灰置場に片づけてください。（P42参照）

V 活動プログラムについて

1 活動プログラム実施の留意点

- (1) 提出された「活動プログラム」に沿って活動してください。ただし、天候等により計画変更の際はご相談ください。
- (2) 活動については、各団体で責任を持って指導にあたってください。基本的に職員による直接的な指導は行っておりません。ただし、事前に講師依頼された活動（P30参照）については、当施設の講師が指導に当たります。
- (3) 野外活動には危険が伴うことがあります。けがや事故のないように指導に当たってください。できる限り事前打合せを十分に行ってください。
事故防止の3原則：「あわてない」「無理をしない」「仲間と離れない」

2 利用前の準備

(1) 事前指導

ねらいにそって効果的な活動ができるように、次のことを説明してください。

- ① 自然の家の利用についてのねらいや心構え
- ② 活動のねらい・内容・方法
- ③ 自然の家での生活の仕方
- ④ 班編成や役割分担
- ⑤ その他

(2) 持ってくる物

- ① 団体で用意するもの
 - 活動に必要な用具 ●救急用具 ●緊急車両（乗用車1台以上） ●その他、団体で必要なもの
- ② 個人で用意するもの
 - 野外活動のできる服装（夏でも長袖・長ズボンが必要。サンダル履きはおすすめしていません。）
③ 沢活動の服装については、別冊の沢活動資料集を参照ください。
 - 上履き（運動靴）、雨具、軍手、デイパック ●水筒、懐中電灯、タオル、洗面用具
 - 筆記用具 ●健康保険証（コピー可） ●その他、活動等で必要なもの

3 自然の家に到着したら

(1) 出合いのつどい

- ① 各学校・団体で企画し、実施してください。要請があれば、職員も出席します。
- ② 校旗・団旗等を掲揚する団体は、持参の上、掲揚してください。

(2) シーツと枕カバーの受取

シーツ貸出場所(P19を参照)で、団体名が記名してある棚からシーツと枕カバーをお持ちください。また、余ったシーツはそのまま棚に置いてください。不足があれば、予備の棚からお持ちください。

(一人分は、シーツ2枚、枕カバー1枚)

(3) ベッドメイキング

P12を参照ください。

4 自然の家を出発するまで

(1) 後片づけ

自然の家利用の最終日は、次のことを行ってください。

① 寝具をたたむ

②毛布と羽毛布団のたたみ方と置き方は、下記のとおりです。

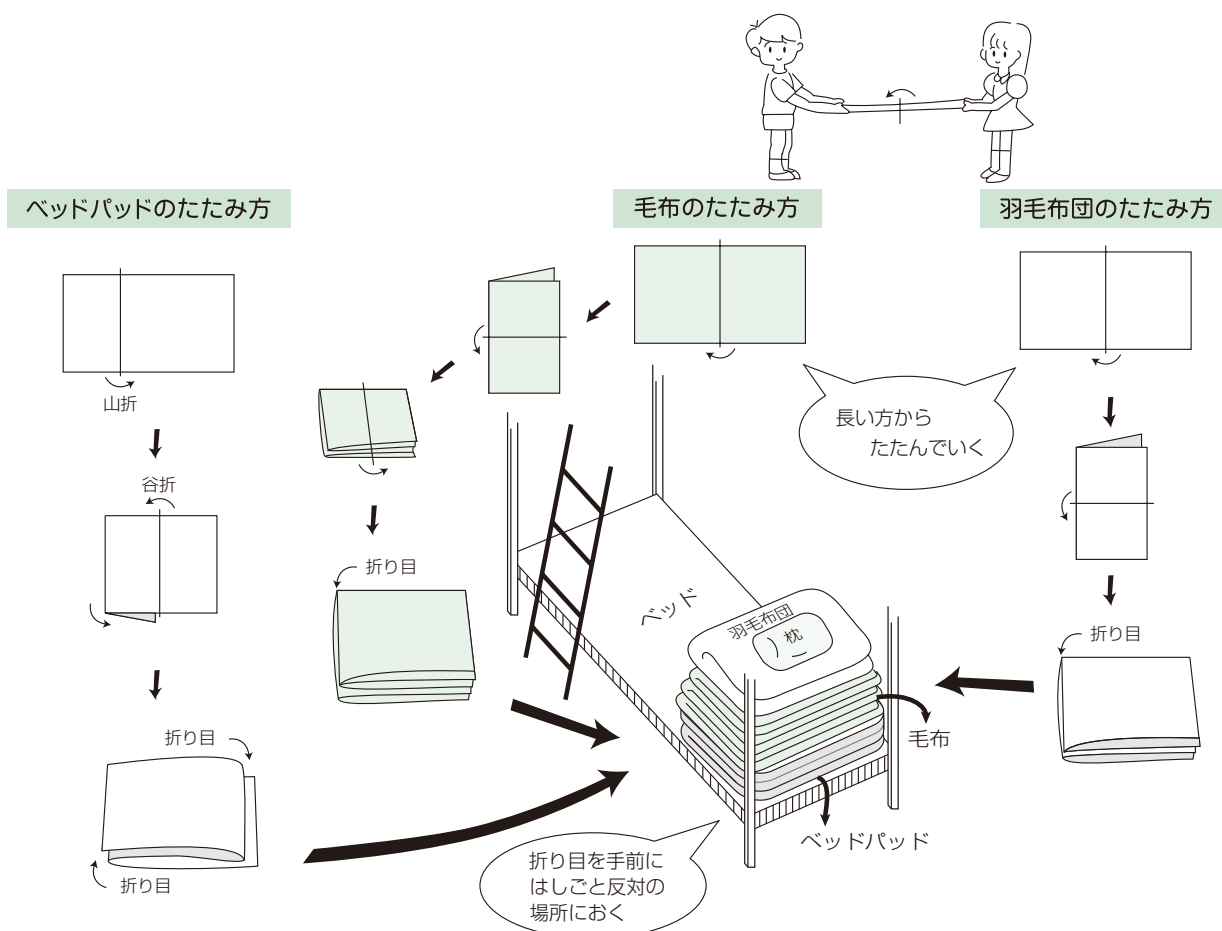
ア. ベッドパッドをたたむ (Z型に三つ折)。

イ. 毛布をたたむ (3回折る)。

ウ. 羽毛布団をたたむ (2回折る)。

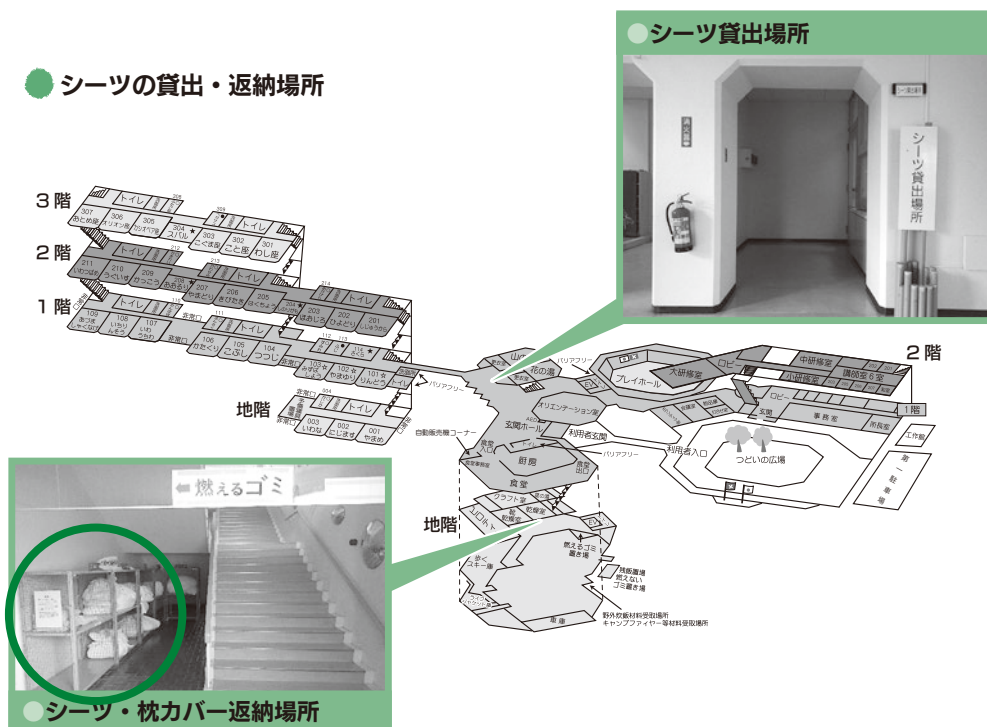
エ. 折り目を手前に出し、枕を上のにのせる。

オ. ハシゴの反対の場所に置く。



② シーツ・枕カバーの返却

「シーツ・枕カバー返納場所」(地階)にお返しください。



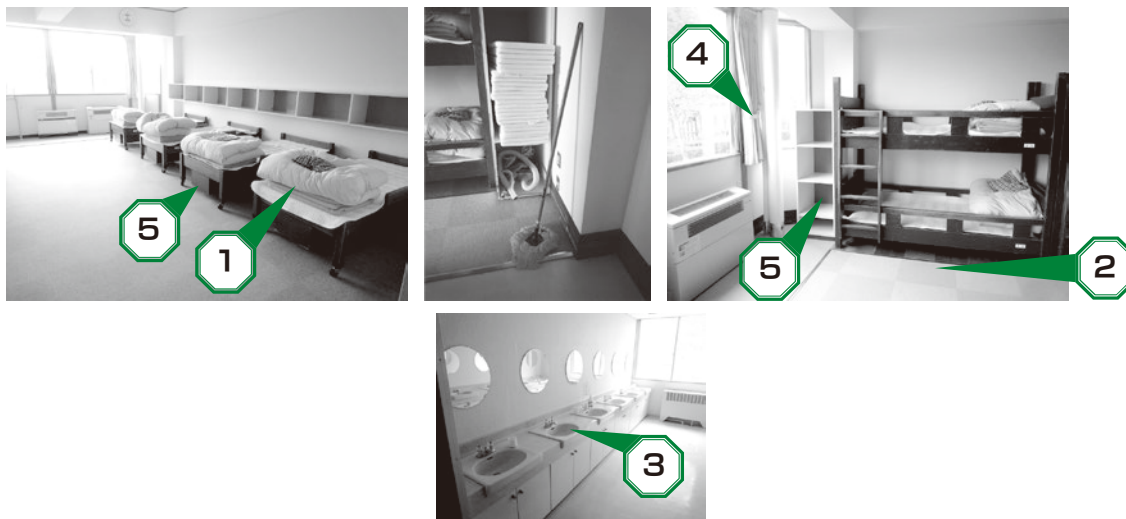
③ 寝具の汚損

備え付けの寝具(布団、毛布等含む)を汚損した場合は、必ず事務室までお持ちください(嘔吐、出血等の場合は、ウイルス感染のおそれがありますので、汚損寝具を入れるための袋をお渡しします)。また事務室にて汚損届の記入をお願いします。

④ 宿泊室等の清掃、整理整頓

宿泊室や通路にある掃除機、モップ等を使い、宿泊室と清掃分担場所の清掃をお願いします。

お部屋の清掃チェックポイント



- 1.寝具は、たたみましたか？
- 2.ベッドの下の綿ほこりをモップで集めて、掃除機で吸いましたか？
- 3.お部屋以外の清掃分担場所になっている洗面所や廊下、階段の掃除はしましたか？
- 4.カーテンは開けて、ストラップで縛りましたか？
- 5.お部屋の棚や引き出しに忘れ物はないですか？

※1.詳しくはお部屋に貼ってある
清掃の方法をご覧ください。

⑤ 荷物の移動

荷物をプレイホール2階にあるギャラリーの荷物置き場に移動してください。

⑥ 部屋の点検

清掃と荷物の移動が終了しましたら、事務室にご連絡ください。職員が宿泊室および清掃分担場所の清掃状況を点検させていただきます(8:40以降)。その際、団体の指導者の方の立ち会いをお願いします。



プレイホールにある荷物置き場

(2) 別れのつどい

- ① 各学校・団体で企画し、実施してください。要請があれば、職員も出席します。
- ② 校旗・団旗等を掲揚している団体は、この時点で降納してください。

5 プログラム作成の基本

プログラム作成に当たっては、四季折々の自然体験や生活体験等を基本に活動相互につながりを持たせ、ゆったりとしたプログラム作成をしてください。

(1) 活動のねらいをはっきりと！

何のために
どんな力を
どんな体験を

- ①自然とのふれあい（自然観察・自然体験）の重視
- ②人とのふれあい（グループ活動・他団体）による集団づくり
- ③生活体験（宿泊・食事・入浴等）による基本的な生活習慣・態度の育成

(2) 施設やフィールドをよく知って！

どんなフィールドか
どんな活動ができるか
どんな設備があるか

- ①ガイドマップで全体像を把握
- ②施設・活動場所・活動プログラム・物品等の有効活用
- ③資料や講師等の効果的な活用
- ④事前打合せの実施

(3) 指導体制を明確に！

代表者任せにしない
引率者全員が共通理解し行動を

- ①役割分担の明確化・実行、連絡体制の確立
- ②活動時間・場所の確認
- ③目的に沿った共通行動

6 プログラム作成上の留意点

(1) 目的を具体的に！

- ① 『△△のために〇〇をする』のように、ねらいをはっきりさせてプログラムを考える。
- ② 参加者の年齢や人数、指導者（教師または引率責任者）の力量や人数を考慮してプログラムを考える。

(2) 自然体験を基本に！

- ① 四季折々の大自然の中での活動を基本にする。
- ② 選択活動の導入、収集した素材の創作活動での活用、荒天時のプログラム等、プログラムを工夫する。
- ③ 講師・施設・設備を有効に活用する。
- ④ 身体的・精神的負荷を考慮し、メリハリのある活動内容と活動時間を設定する。

(3) 子どもの考えを生かして！

- ① 発達段階・体力差を考慮し、主体的で自発的かつ安全な活動ができるようにする。
- ② 児童・生徒および学生が中心となって企画・運営し、指導者（教師または引率責任者）は支援者として見守る。

(4) 時間的なゆとりを！

- ① 自然が相手の活動であることや他団体との関連も考慮する。
- ② 自然の家での生活時間（食事・入浴・睡眠等）を大切にする。
- ③ 事前実地踏査でのコースタイム等を参考にして、活動時間に余裕を持たせる。

(5) 安全・健康管理を！

- ① 事前の健康調査（病気、常服薬、食事制限等）、活動前の健康チェックを必ず行う。
- ② 緊急車両と運転手を準備し緊急時に備える。
- ③ 実地踏査でフィールドを知り、注意箇所を把握して危険を事前に回避する。

(6) 活動をふりかえる時間を！

活動での学びや気づきを定着させ、お互いに考えを共有するためにも、活動終了後に感想発表等の時間を設ける。

(7) 医療機関等について

所周辺医療機関について

体調が悪く受診したい際や、不慮の負傷や事故の際は、応急的な措置の後、最寄りの病院を紹介します。
医療機関および連絡先等については、P 54を参照ください。

VI 活動プログラム一覧

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

1 登山・ハイキング

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
登山	大自然の中に溶け込んで、自然に親しみ、山についての知識を深め、忍耐力、協同、自然を愛する心情を養う。	おおど がもり 大土ヶ森 (580m) くりこまやま 栗駒山 (1626m)	6～7時間 1日	4月～ 11月	①	<利用者> 長袖、長ズボン、軍手、帽子、昼食、 水筒、救急用具、雨具等 <自然の家> コース地図、シルバコンパス、熊鈴
ハイキング	四季折々の自然の美しさ、厳しさに触れながら、体力に応じた散策を楽しむことで自然に親しもうとする態度を養う。	おこまやま 御駒山 (522m) ぬる ゆ ばんしよあと 寒湯番所跡	2～3時間 8時間	4月～ 11月	①	<利用者> 長袖、長ズボン、軍手、帽子、昼食、 水筒、救急用具、雨具等 <自然の家> コース地図、熊鈴
ナイト ハイキング	昼では味わうことのできない夜の自然の静寂さと星空、風の音、木々の葉の触れ合う音、虫のささやきなどに触れることを通して、自然に親しむ心情を育てる。	ほとるの道 ほおのきの道 みずきの道 こぎつねの道 (キャンプ場周辺)	1時間 1.5時間 2時間 1時間	4月～ 11月	①	<利用者> 懐中電灯、電池、ろうそく等 <自然の家> コース地図、ランタン、カンテラ、熊鈴

2 水辺の活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
沢活動	仲間と協力し合いながら源流を目指して砥沢を登ったり、溪流で遊んだりして、自然に親しむ。また、砥沢周辺の水生生物や植物・昆虫・野鳥等の観察を行ったり、鉱物採取を行ったりして、花山の豊かな自然に触れ、自然に親しむ。 (別冊：沢活動資料集参照)	とざわ 砥沢	3時間 ～1日	5月～ 10月中旬	①	<利用者> 長袖、長ズボン、運動靴、昼食、水筒、 救急用具、軍手等 <自然の家> コース図、ライフジャケット、 ヘルメット、熊鈴、レスキューロープ等 ※実施前日および当日の情報収集を行ってください。 ★沢④にバイオマストイレ有。

3 雪中活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
スキー活動	アルペンスキー 歩くスキー	すりばち ゲレンデ 冒険広場 見晴らし広場 林道	3時間 ～1日	12月～ 2月 積雪時	① ③	<利用者> スキー活動に適した服装、帽子、手袋、 ゴーグル等 <自然の家> スキー板、ストック、靴 ※ロープトゥ使用の場合は、監視員が3人 必要です。 ※アルペンスキー：靴18cm～28cm ※歩くスキー：靴17.5cm～28cm ※道具を持参していただいても結構です。
	ネイチャースキー	林道 自然の家周辺	3～4時間	12月～ 2月 積雪時	①	<利用者> スキー活動に適した服装、帽子、手袋、 ゴーグル等 <自然の家> スキー板、ストック、靴、図鑑等
	冬芽探し (ツリーウォッチング)	自然の家周辺	2～3時間	12月～ 2月	①	<利用者> 活動に適した服装、帽子、手袋、 観察用スケッチ用紙、筆記用具等 <自然の家> 地図、ルーペ、図鑑、スノーシュー、 輪かんじき、歩くスキー等

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
スノーシュー・ かんじき ハイキング	スノーシューや輪かんじきを履いて冬の森の中を歩くことで、冬の自然の様子を観察し、雪に親しみながら体力づくりを図る。	林道 自然の家周辺	3～4時間	12月～ 2月 積雪時	①	＜利用者＞ 雪の森の中での活動に適した服装、帽子、手袋、ゴーグル、デジタルカメラ、観察用スケッチ用紙等 ＜自然の家＞ スノーシューあるいは輪かんじき、スパッツ、スノーブーツ(23cm～29cm)
アニマル トラッキング	雪の森の中を歩くスキーやスノーシューを履いて巡り、動物の足跡を探して、冬の動物の生態について考えたり、知ったりする。	林道 自然の家周辺	2～3時間	12月～ 2月 積雪時	①	＜利用者＞ 雪の森の中での活動に適した服装、帽子、手袋、ゴーグル等 ＜自然の家＞ スノーシューあるいは輪かんじき、スパッツ、スノーブーツ、歩くスキー板、ストック、靴
そり遊び チューブ滑り	そりやタイヤチューブに乗って、ゲレンデを滑り、冬の自然に親しむ。	冒険広場 等	1～2時間	12月～ 2月 積雪時	①	＜利用者＞ 活動に適した服装、帽子、手袋等 ＜自然の家＞ そり、スノーチューブ ※道具を持参していただいても結構です。
スポーツ雪合戦	冬のニュースポーツに友達と工夫しあって取り組み、チームワークで勝利することの楽しさを味わう。	すりばち ゲレンデ ※プレイホールでも行えます。	2～3時間	12月～ 2月 積雪時	①	＜利用者＞ 活動に適した服装、帽子、手袋等 ＜自然の家＞ ボール、ヘルメット、ゼッケン、フラッグボール、シェルター、雪玉製造器、ホイッスル、ストップウォッチ等
創作・製作活動	雪灯籠づくり	野外広場等 (ご相談ください)	2～3時間	12月～ 2月 積雪時	①	＜利用者＞ 活動に適した服装、帽子、手袋、バケツ、耐風ローソク、チャッカマン等 ＜自然の家＞ バケツ、コップ、移植ごて
	雪のランタンづくり		1～2時間			
	氷のランタンづくり		3～4時間			
	イグルーづくり					＜利用者＞ 活動に適した服装、帽子、手袋等 ＜自然の家＞ スノーソー、スコップ、脚立等

4 スポーツ活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
バレーボール バスケットボール バドミントン ドッジボール 卓球 綱引き 一輪車 各種室内スポーツ	各種スポーツ活動を通して、 ①健康の増進 ②技術の向上 ③参加者の交流 を図り、生涯スポーツに向けた取り組みとして役立てる。	プレイホール 旧花山中学校 体育館 花山石楠花 センター 市民ホール	自由	通年	①	＜利用者＞ 運動に適した服装 ＜自然の家＞ 各種スポーツ用具一式、得点板、ホイッスル ※使用できる用具の数等については、事前に確認してください。 ※花山石楠花センター市民ホールは有料になります。
ディスクゴルフ	何投でゴールに投げ入れるかを競うゴルフのようなゲーム。 9ホールの合計投数を競う。 友達と共にニュースポーツを楽しみ、参加者同士の交流を深める。	常設コース (屋外)	2～3時間	4月～ 11月	①	＜利用者＞ 筆記用具 ＜自然の家＞ フライングディスク(フリスビー)、スコアカード、バンダー
ニュースポーツ 室内パタンク スカットボール スマイルボウリング キンボール	勝敗よりも、「楽しみ」「気晴らし」「人との交流」「健康・体力づくり」に重点を置いた生涯スポーツ。	プレイホール オリエンテーション室 研修室等	自由	通年	①	＜利用者＞ 運動に適した服装 ＜自然の家＞ 各種用具一式、ホイッスル ※使用できる用具の数等については、事前に確認してください。

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

5 炊事・生産活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
火 お こ し ※	木と木の摩擦によって火を起こしていた人間の文明の原点に立ち返り、火を使うことの素晴らしさを体感する。 (野外炊事、キャンプファイヤーにつなげることができる)	キャンプ場、 営火場、 工作館、 ピロティ	10分～ 1時間	通年	①	<利用者> 火おこし用板、火切りぎね、 かんなくず、軍手等 <自然の家> 火おこし器本体、のこぎり、小刀等
野 外 炊 事	かまどやピザ窯などを使って調理を行うことで、グループで協力・工夫することの大切さを理解する。 日本の伝統文化を理解することや仲間との交流を深めることを目的とした野外炊事も可能。	第一・第二野外 炊事場、 キャンプ場炊 事場、工作館	3～4時間	4月～ 11月 (300人 程度) 12月～ 3月 (40人 程度)	①	<団体> マッチ、スポンジ、たわし、洗剤、 クレンザー、ふきん、雑巾、新聞紙、 うちわ等、食材は食堂に注文 <自然の家> 野外炊事用具一式、もちつき用具一式、 ドラム缶釜等 ※詳細はP32をご覧ください。
そ ば 打 ち	地場産品のそば粉を使ったそば打ち体験を行い、食する。花山でとれるそばの良さに気づくと共に、地域で活躍する講師との交流を行う。	ふるさと交流館	3時間	通年	②	人数：30人程度まで (最低5人以上) 費用：一人1,000円 (講師料込み、会場費別) ※そば粉、そばつゆの材料・用具等は 講師が準備します。 ※会場の予約等もごさいますので、事前に 自然の家に連絡してください。
パンづくり	講師の指導のもとでパンづくりに取り組み、手作りパンの良さに気付くと共に、地域で活躍する講師との交流を行う。	花山石楠花 センター	3時間	通年	②	人数：30人程度まで (最低5人以上) 費用：一人500円 (講師料、会場費別) ※パンづくりの材料・用具等は講師が準備 します。 ※会場の予約等もごさいますので、事前に 自然の家に連絡してください。

6 創作・制作活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
焼き板づくり ※	杉板を焚き火で焼き、ワイヤーブラシで磨き、絵付けをして作品にする。花山での体験をより深め、心に強く焼き付けることができる。	すりばち広場、 ピロティ等	2～3時間	通年	①	<利用者> マッチ、軍手、布きれ、焼き板セット <自然の家> 火ばさみ、焼き板用ブラシ
こけしの絵付け ※	こけしの木地(鳴子こけし)に自分の工夫した絵付けを行い、伝統こけしの良さと、オリジナルこけしの良さに気づく。	クラフト室、 研修室等	2時間	通年	① ③	<利用者> 布きれ、新聞紙、絵付用白木こけし <自然の家> 絵付用筆、絵付用皿、染料、ろう
紙 す き	牛乳パックや古紙を使って紙すきを行い、はがき等を作る。古紙がリサイクルによって新しい紙に生まれ変わることの素晴らしさと、面白さを知る。	工作館	2～3時間	通年	①	<利用者> 古紙(牛乳パック、新聞紙等)、新聞紙、 ゴミ袋、ふきん(ガーゼ・手ぬぐい等) <自然の家> ミキサー、アイロン、ボウル、木枠、 金網、カッター、定規、延長コード
凧 づ く り ※	竹を使って日本古来の和凧(角凧・奴凧)を作り、楽しく凧遊びをする。	クラフト室、 研修室等	3時間	通年	①	<利用者> 凧づくりキット、鉛筆、絵の具、 のりまたは木工用ボンド <自然の家> はさみ、カッター、工作板、絵筆、 パレット、絵の具バケツ、メジャー
オリジナル パラソルづくり ※	ビニール傘に自由にデコレーションを楽しむ。「雨の日でも楽しくなる」「だれかに見せたい空」等、ねらいに応じたテーマを設けることで、感性を育むきっかけになる。	クラフト室、 研修室、 工作館	2～3時間	通年	①	<利用者> オリジナルパラソルづくりセット、 アクリル絵の具、油性マジック <自然の家> はさみ、筆、パレット、バケツ、カッター

※食堂売店で購入可(詳細はP33)。

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
竹 細 工 ※	竹を使って、竹とんぼや食器等を作り、日本の竹文化の素晴らしさを知る。	クラフト室、ピロティ	2～3時間	通年	① ③	<利用者> 木工用ボンド、竹、軍手、紙やすり <自然の家> なた、小刀、きり、のこぎり
木の実クラフト	自然の家周辺のハイキングや散歩で集めた木の実を使って、蛙や昆虫などをつくり、花山での活動の思い出を深める。	クラフト室、ピロティ、研修室	3時間	9月～12月	①	<利用者> 木の実、ホットボンド用スティック、爪楊枝、ラッカー <自然の家> カッターナイフ、カッターマット、万能ばさみ、小刀、グルーガン
森の昆虫づくり	木の枝や葉等を採取し、それを使って昆虫などの作品を作る。	クラフト室、ピロティ、研修室	2～3時間	9月～12月	①	<利用者> 軍手、木の枝、葉、木の実、接着剤、紙やすり <自然の家> のこぎり、小刀
ロック&ストーン クラフト	沢活動で集めた小石の形や色などの特徴を生かして、組み合わせたりペイントしたりして創造的な作品を楽しく作り、花山の活動の思い出を深める。	クラフト室、ピロティ等 研修室	2～3時間	5月～10月中旬	①	<利用者> 石、絵の具、紙やすり、綿棒、瞬間接着剤 <自然の家> 小刀、ハンマー、パレット、絵具パケツ
万華鏡づくり ※	自然の家周辺で採取した種・枝・葉等を入れて、万華鏡を作り、花山の自然の楽しさを味わう。	クラフト室、ピロティ等、	2時間	通年	①	<利用者> 万華鏡セット、種、枝、葉、セロテープ、のり <自然の家> はさみ
翼を持った種 ※	翼を持った種を観察し、紙等を使って構造が似ている種を作り、飛ばしてみる。その遊びの中から植物が子孫を残すための様々な工夫に触れ、自然の神秘さに気づき、自然を大切にしようとする態度を育てる。	研修室、プレイホール	2～3時間	通年	①	<利用者> 翼を持った種セット <自然の家> はさみ、種の標本
KAPLA (カブラ)	木製ブロック「カブラ」を用いて造形を行う。 自由な創作活動を通して仲間づくりができる。	研修室	1～2時間	通年	①	<自然の家> カブラ

※食堂売店で購入可(詳細はP33)。

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

7 ゲーム・レクリエーション活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
ウォークラリー (WR)	コマ地図を見ながら、グループでポイントを探り、そこにある課題を協力し合って解きながらコースを一周する中で、自然に親しむ態度を育てる。	あなぐまコース かもしかコース	2～3時間 3～4時間	4月～11月	①	＜利用者＞ 筆記用具、ホイッスル、雨具等 ＜自然の家＞ コマ地図、課題・解答用紙、 バインダー
オリエンテーリング (OL)	地図を見ながらグループで協力し合ってポイント巡りを競う中で、友達と協力してゴールできる喜びと達成感を味わわせる。 ＜ポイントOL＞設定されたポイントを地図と磁石を使って順番に発見する。時間をずらし、グループごとに出発する。 ＜スコアOL＞設置されているポイントを地図と磁石を使って数多く発見する。グループごとに同時に出発する。	東回りコース 北回りコース ※スコアOLにはコースの設定はありません(スコアOL用地図有)	1～7時間	4月～11月	①	＜利用者＞ 筆記用具、時計、ホイッスル、雨具等 ＜自然の家＞ コース地図、チェックカード、 シルバコンパス ※活動時間が1日の場合は、昼食を持参してください。
キャンプファイヤー (CF) ボンファイヤー (BF) ※	燃え上がる炎やろうそくの火を囲み、神秘的な炎を見つめながら活動を振り返ったり、自分の生活を振り返ったりすることで、互いの心を開放しあい友情を深める。	冒険広場上部、 冒険広場下部、 すりばち広場、 見晴らし広場、 星空広場、 ※ボンファイヤーは炊事場でも可。	1.5～2時間	4月～11月	①	＜利用者＞ マッチ、トーチ棒、 キャンプファイヤーセット(火の精の衣装等) ＜自然の家＞ アンプセット(マイク・テープ使用可)、 電源ドラム、CDラジカセ
キャンドルサービス (CS) ※		プレイホール、 オリエンテーション室、 研修室等	1.5～2時間	通年	①	＜利用者＞ マッチ、ローソク ＜自然の家＞ アンプセット(マイク・テープ使用可) 電源ドラム、CDラジカセ、中央燭台、 個人燭台、耐火シート
館内追跡ゲーム	館内に設定したいくつかのポイントを巡り、問題を解いていく。グループで協力することで仲間の存在に気づくようにする。 ※雨天時に活用できます。	館内	1～2時間	通年	①	＜利用者＞ 筆記用具・館内での問題設置作業 ＜自然の家＞ 地図、課題・解答用紙セット、 ストップウォッチ、メジャー、バインダー ※複数団体での同時活動が可能です。
ココどこ？ オリエンテーリング	コマになった写真を見ながらグループで協力し合って館内の指定された場所を探して歩くことで、館内を細かく知る。 ※雨天時に活用できます。	館内	1～1.5時間	通年	①	＜利用者＞ 筆記用具 ＜自然の家＞ 課題・解答用紙 バインダー
ソトどこ？ オリエンテーリング	コマになった写真を見ながらグループで協力し合って所周辺の指定された場所を探して歩くことで、所周辺の様子を細かく知る。 ※雨天時に活用できます。	自然の家周辺	1.5～2時間	4月～12月	①	＜利用者＞ 筆記用具 ＜自然の家＞ 課題・解答用紙 バインダー
チャレンジランキング	簡単な道具を用いてみんなで競い合いながらゲーム大会をして遊ぶ。 ※雨天時に活用できます。	プレイホール、 オリエンテーション室、 研修室等、 宿泊室	1～2時間	通年	①	＜利用者＞ 筆記用具 ＜自然の家＞ 長なわ、ストック、空き缶、 ストップウォッチ、万歩計、豆移し用豆等
ネイチャーゲーム	五感(視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚)を通して自然とふれあうゲームを行い、自然を感じる。	すりばち広場、 あなぐまコース等	2～3時間	通年	①	＜利用者＞ 筆記用具、目隠し用タオル ＜自然の家＞ ロープ、色合わせカード

※食堂売場で購入可(詳細はP33)。

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

8 観察・調査活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
自然観察	植物・動物・昆虫・野鳥等の観察を通して自然の仕組みを知り、自然とのかかわりを考え、自然を大切にすることを育む。	自然の家周辺	2～3時間	年間	①	<利用者> 軍手、筆記用具、観察用紙等 <自然の家> コース図、双眼鏡、ルーペ、メジャー、フィールドスコープ、ファール顕微鏡、各種図鑑等 ※冬季はかんじき、歩くスキー
植物の観察・調査	フィールドに植生する四季折々の植物を観察、スケッチし、特徴的な植物を調査する。また、その結果について発表し、考えることで植物を大切にすることを養う。	御駒山、あなぐまコース、自然の家周辺等	2～3時間	4月～11月	①	<利用者> 軍手、筆記用具、観察用紙等 <自然の家> コース地図、ルーペ、図鑑等
動物と昆虫の観察・調査	花山のフィールドに生息する動物や昆虫を観察、スケッチし、特徴的な動物・昆虫を調査し、発表しあうことにより、自然を大切にすることを育てる。	御駒山、自然の家周辺等	2～3時間	4月～11月	①	<利用者> 軍手、筆記用具、観察用紙等 <自然の家> コース地図、ルーペ、捕虫網、図鑑等
土壌観察	ハイキングコース脇の土壌中に生息する昆虫や木の葉の腐敗の様子、土壌の仕組みを調べることを通して、森の仕組みを知る。	自然の家周辺	2～3時間	4月～11月	①	<利用者> 筆記用具、メモ用紙等 <自然の家> 課題用紙、検土杖、ルーペ、ピンセット、バット
星座観察	肉眼や天体望遠鏡を使って星の集まりや位置、明るさ、色等を観察し、多くの種類の星があることを知る。また、星の成り立ちや星座、星の種類について知る。	自然の家周辺	1～2時間	年間	① ③	<利用者> 筆記用具等 <自然の家> 星座早見盤、天体望遠鏡、双眼鏡
グリーンウォッチング	樹木の特徴を題材にした問題を解いていくハイキングゲーム。身近な生活と樹木との関係を理解する環境学習として活用できる。	所周辺 ほおのきの道	2～3時間	通年	①	<利用者> 筆記用具等 <自然の家> コース地図、課題用紙、図鑑等
水生生物の観察・調査	水生生物の採取、観察を通して、水質をはじめとした河川環境を調査し、自分が住んでいる地域の河川と比較して、生活環境について考える。	砥沢	2～3時間	4月～10月中旬	①	<利用者> 軍手、筆記用具、観察用紙等 <自然の家> 採集ネット、バット、ミルカップ、ルーペ、ピンセット、資料等
水質検査	水質の検査を通して環境に対する関心を高める。その他の活動や日常生活を関連させて実施し、環境問題への気づきを促す機会とする。	砥沢 野外炊事場等	2～3時間	4月～10月中旬	①	<利用者> 筆記用具、記録用紙等 <自然の家> パックテスト、試験管、ビーカー、フラスコ

9 奉仕活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
館内清掃	館内の清掃を通して、公共の場を美しく整える態度を育む。	館内	1～3時間	年間	①	<利用者> 軍手、雑巾、三角巾や帽子、マスク <自然の家> バケツ、モップ等
屋外ゴミ拾い	所周辺のフィールドのゴミ拾いを通して、環境に配慮する意識を高める。	自然の家周辺	1～3時間	4月～11月	①	<利用者> 軍手、ゴミ袋 <自然の家> コース地図等

【指導方法】①：団体の引率者が指導者となって行う活動
②：必ず講師依頼が必要
③：指導者を紹介できる活動

10 学習活動

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
プロジェクト アドベンチャー (PA)	体験学習法をベースに、フルバリュー コントラクトやチャレンジバイチョ イスを基本理念として様々なアク ティビティに挑戦し、人と人との信頼 関係が自分たちにとって大切である ことに気づかせる。	冒険の森、 すりばち広場、 つどいの広場、 館内	3時間	年間	① ③	＜利用者＞ 特になし ＜自然の家＞ PAグッズ等

11 幼児の運動プログラム

活動名	活動の概要および ねらい	場所	時間	期間	指導方法	準備物等
幼児の運動 プログラム	自由に遊びながら「36の基本的な動 き」が身に付くきっかけ作りになる。 ①フィールド ②室内 ③雪上	①リックの森 ②キャンプ場 ③館内 ④すりばち広場	1～3時間	年間	①	＜利用者＞ 活動に適した服装 ＜自然の家＞ 運動遊びに必要な道具

- ⑧ 講師に係る経費の受益者負担をお願いしております(P30)。
 ⑧ 安全に活動いただくために、沢登りや沢遊び、登山、ウォークラリー等の活動を計画する場合には、事前に打ち合わせや実地踏査をお
 願いしております。
 ⑧ 野外での活動前には、その都度事務室に代表者の方はお越しください。緊急連絡用の無線機や熊鈴等を貸出します。

■一部の活動プログラムについては、【公式】YouTubeチャンネルにて紹介動画を掲載しています。

国立花山青少年自然の家【公式】
<https://www.youtube.com/channel/UCn-FCGyaKRajPPoR7zvT0jQ>



VII 利用に必要な経費

- ① 一部を除き価格は全て消費税込みの料金です。
- ② 価格は2020年10月現在の価格となっております。消費税の増税や原材料の高騰による料金改定については当自然の家ホームページをご確認ください。

1 シーツ等洗濯費用

一組分

本館（シーツ2枚、枕カバー1枚） 300円

キャンプ場（シュラフ用シーツ1枚） 240円

- ③ 4泊以上のご利用の場合、衛生管理の観点からシーツの取り替えをお願いしています。そのため追加で費用が必要となります（1組のシーツで3泊までご利用いただけます）。
- ④ 未就学児は、保護者と一緒に寝具を使えば無料となります。

2 施設使用料

青少年団体※ 無料

青少年団体以外の一般利用団体 有料（1泊毎に1人810円）

※詳細についてはP2を参照ください。

日帰りでのご利用の場合は無料。

3 経費の支払い方法

【食事代（定食）・施設使用料・シーツ等洗濯費用および講師指導に係る経費】

退所手続き時に、利用人数およびシーツ使用組数等を確認のうえ、請求書を発行いたします。

お支払い方法は、下記の3通りからお選びください。

- ① 現金でのお支払い
現金でのお支払いは、食堂事務室にて退所時までにお支払いください。
- ② コンビニエンスストアでの振込み
所定のコンビニエンスストアで1か月以内にお支払いください。請求書1枚につき、支払い手数料が100円かかります。
- ③ 銀行での振込み
所定の三菱UFJ銀行口座に1か月以内にお振込みください。振込み手数料がかかります。

【野外炊事料金および教材費等】

お支払い方法は、下記の2通りからお選びください。

- ① 現金でのお支払い
現金でのお支払いは、食堂事務室にて退所時までにお支払いください。
- ② 銀行での振込み
所定のゆうちょ銀行口座または筑波銀行口座に1週間以内にお振込みください。

4 講師指導に係る経費

以下の活動プログラムで、専門的職員の指導が必要な場合は、指導料金が必要となります。

【活動プログラム別経費一覧】

- ①は、事務室でシーツ等洗濯費用と一緒に支払手続きをします。
- ②は、食事・教材等注文書で事前にご注文いただき、食堂事務室にて支払手続きをします。
- ③は、会場にて直接お支払いいただきます。

【料金表】

摘 要		①		②	③	備 考
活動プログラム	単 位	指導料・一回または 一人単価	材料費 (一人当たり)	教材費	会場使用料	
P A	講師一人当たり	4時間迄 8,800円	-	-	-	講師1人につき 参加者30人程度まで
竹細工	講師一人当たり	3,000円	-	材料費が別途か かります。詳しくは ご相談ください。		講師1人につき 参加者30人程度まで
こけしの絵付け	講師一人当たり	8,800円	-	470円(1体) 売店で購入可	-	講師1人につき 参加者50人程度まで
そば打ち	参加者一人当たり	1,000円	指導料・材料費 込み	-	ふるさと 交流館 200円/1h	5人~30人程度まで 外冷暖房料(使用料の 40%)
パンづくり	活動1回当たり	5,000円	500円	-	花山石楠花 センター	5人~30人程度まで
スキー	講師一人当たり	5,000円	-	-	-	講師1人につき 参加者10人程度まで
星座観察	講師一人当たり	5,000円	-	-	-	講師1人につき 参加者100人程度まで

- ① PA以外のすべての活動プログラムは2～3時間程度（半日）で考えています。例えば、午前～午後をとおした活動では2回分の料金がかかります。
- ② 講師については自然の家職員が行う場合もあります。

5 食事関係料金

【注文時の留意点】

- ① 「食事・教材等注文書」は、ご利用の1ヶ月前までに自然の家食堂※までお送りください。
- ② 食堂での食事数に変更がある場合はご利用の前日午後3時までにご連絡をお願いします。
- ③ 食堂への注文を全てキャンセルする場合や、野外炊事、弁当類、一部教材の変更・キャンセルはご利用の7日前までにご連絡をお願いします。
- ④ おにぎり弁当の変更・キャンセルはご利用の3日前午前11時までにご連絡をお願いします。
- ⑤ 上記期日以降の変更・キャンセルの場合は実費分をいただきます。

※国立花山青少年自然の家食堂・・・株式会社 寿食品

TEL 0228-56-2162 FAX 0228-56-2402

【料金表】

【定食】

	朝食	昼食	夕食	合計
4歳児～小学生未満	330円	440円	530円	1,300円
小学生	460円	540円	660円	1,660円
中学生以上	470円	550円	680円	1,700円

③ 3歳児以下は無料です。

<内容>

栄養バランスを考えたバイキング方式の定食です。

食物アレルギーについては、遅くともご利用の2週間前までに自然の家食堂にご相談ください。

食数の変更については「食事・教材等注文書」をご覧ください。

【弁当】

弁当メニュー	内 容	価 格
パン弁当	調理パン・菓子パン・ジュース等	520円
おにぎり弁当A	おにぎり3個・から揚げ等おかず (③飲み物はありません。)	580円
おにぎり弁当B	おにぎり2個・から揚げ等おかず	580円
おにぎり弁当C	おにぎり2個・こんにゃくゼリー・ウーロン茶(500mlペットボトル)	390円
花山弁当 (10個以上から)	雑穀米・ゴマ塩・ハンバーグ・塩ます・スパゲティ・コロッケ・卵ロール・切り干し大根の煮物・漬物・こんにゃくゼリー・パックソース・お茶(200cc)	590円
ヒレカツ弁当	白米・梅干・ゴマ塩・ヒレカツ・キャベツ・スパゲティ・切り干し大根の煮物・こんにゃくゼリー・漬物・パックソース・お茶(200cc)	560円
唐揚げ弁当	白米・梅干・ゴマ塩・唐揚げ5個・キャベツ・スパゲティ・切り干し大根の煮物・こんにゃくゼリー・漬物・お茶(200cc)	560円

③ 1 パン弁当は、朝食用にご利用ください。

③ 2 おにぎり弁当は、朝食時まで、その他の弁当は11時頃までに準備できます。

③ 3 花山弁当・ヒレカツ弁当・唐揚げ弁当は、施設周辺での活動時に指定の場所(車で行ける場所)まで配達することも可能ですので、自然の家食堂にご相談ください。また、受渡時間は、11時30分からとなります。

③ 4 登山の場合は、おにぎり弁当にさせていただくことをおすすめします。

③ 5 仕入都合により、副菜が変わる場合があります。

【携行食・夜食・おやつ】

メニュー	内 容	価 格
携行食(非常食)	カロリーメイト・キャラメル	300円
夜食用おにぎり	梅、鮭など《受渡しは15時以降です》(6月～9月は梅のみ)	120円
パン類	菓子パン(あん、クリーム、ジャム等)、調理パン	180円～
菓子の袋詰め	ご予算に応じ、各種菓子類を袋に入れて準備します。	200円～
紙パックジュース	オレンジ、アップル等(200cc)	110円
ペットボトル(500ml)	スポーツ飲料、ウーロン茶、オレンジジュース等	160円
アイスクリーム	バニラ(カップ)、かき氷等	かき氷100円～ バニラ(カップ)130円

【野外炊事】

No.	メニュー	1セット	食材料	調味料	価格
1	カレーライスセット	8人分	米・豚肉・じゃがいも・タマネギ・人参・カレールー・ 福神漬け・ジュース・薪1束・ゴミ袋	油	4,480円
2	ピザセット	8人分	強力粉・ピザ用チーズ・ピザ用ソース・ベーコン・ピーマン・ ツナ缶・ホールコーン・ウーロン茶・マッシュルーム缶・ 黒ビニール(発酵用)・薪2束・ゴミ袋	ドライイースト・ 砂糖・塩・油	5,720円
3	焼きそばセット	8人分	焼きそば麺・豚肉・キャベツ・もやし3袋・ワカメスープ・ 漬物・ジュース・薪1束・ゴミ袋	油・ソース	4,480円
4	パン朝食	8人分	ロールパン・ジャム・マーガリン・卵・ベーコン・ 牛乳・フルーツゼリー・薪1束・ゴミ袋	油・醤油	3,280円
5	野菜炒めセット	8人分	米・豚肉・キャベツ・もやし・ピーマン・人参・タマネギ・納豆・ 味付のり・わかめ・漬物・薪1束・ゴミ袋	だし味噌・醤油・塩・ 胡椒・油	3,280円
6	五目めしセット	8人分	米・釜飯の素・山菜風味・さば缶詰・フルーツカクテル・漬物・わ かめ・ジュース・薪1束・ゴミ袋	だし味噌	4,480円
7	豚汁セット	8人分	米・豚肉・じゃがいも・人参・大根・コンニャク・長ネギ・ ごぼう・山菜風味・豆腐・味付のり・ふりかけ・フルーツポンチ・ ジュース・漬物・薪1束・ゴミ袋	だし味噌	5,600円
8	もちつきセット	20人分	もち米・雑煮の材料(鶏肉・大根・人参・なると・ゴボウ・ みつ葉)・練りあん・納豆・きなこ・薪3束・ゴミ袋	醤油・砂糖・塩	11,240円
9	鉄板焼きセット	4人分	豚肉400g・牛肉500g・フランクフルト4本・ 焼きそば麺(ソース付)1kg・ピーマン2個・エリンギ1パック・ キャベツ1/4～1/2カット程度(キャベツの大きさによる)・ もやし1袋(約250g)・カットコーン4個・玉ねぎ2個・薪2束・ ゴミ袋 ②ごはんはつきません。	焼肉のたれ1本・ 塩こしょう適宜・油	5,000円
10	ご飯セット	8人分	米・わかめスープ・漬物		560円

① 最低注文数は1／2セットからの注文になります。

② 最低注文数＋2名分単位の注文も承ります。

③ もちつきセットは、1／2セット単位で注文できます。

④ ピザセットには、ピザ用皿とピザカッターが付きます。使用後に食堂へご返却ください。

⑤ 中性洗剤、クレンザー、ふきん、スポンジ、マッチ、新聞紙等は、各団体で準備してください。

⑥ 芋煮など、その他希望のメニューがありましたら、自然の家食堂(P31)にお問い合わせください。
ただし、原則として10～3月の期間に限らせていただきます。

⑦ 野外炊事において食中毒が発生した場合に原因の早期究明を行い、迅速な対応を行うため。検食の提出をお願いします。約50g(タマゴ1個程度)

【懇親会等】

食堂の営業終了後、食堂ホールにて実施※することができます。ただし実施時間等の調整が必要となりますので、必ず活動日程表（P47）にご記入願います。また、食材の持ち込みは出来ませんので、オーブン等については自然の家食堂（P31）に注文願います。

※当施設は青少年教育施設です。マナーを守り実施時間を厳守してください。

6 教材等料金

【料金表】

No.	品名		単位	単価	セット価格	内容
1	キャンプファイヤーセット	標準	1セット		8,410円	丸太30本・薪2束・灯油2L（トーチ棒はつきません）
		ハーフ	1セット		4,440円	丸太16本・薪1束・灯油1L（トーチ棒はつきません）
2	丸太【追加用】		1本	260円		キャンプファイヤー用丸太
3	灯油（キャンプファイヤー用）【追加用】		1ℓ	時価		
4	薪（野外炊事用）【追加用】		1束	540円		細めの薪から太めの薪まで入っています（ボンファイヤー、薪割り体験も可）。
5	ローソク	大	1本	130円		燃焼時間（約9時間）、長さ（約22cm）
		中	1本	30円		燃焼時間（約2時間）、長さ（約15cm）
		小	1本	20円		燃焼時間（約1時間10分）、長さ（約11cm）
6	焼き板	セットA	1セット		5,600円	板16枚・紐16本・ヒートン32ヶ・カラーマーカー（白4本黄4本）・薪1束
		セットB	1セット		6,880円	板16枚・紐16本・ヒートン32ヶ・カラーマーカー（白8本黄8本）・薪1束
	1人用セット		1セット		250円	15人分以下はバラ売りになります。 （板1枚、紐1本、ヒートン2ヶ）
	カラーマーカー		1本	180円		カラーマーカーは白・黄・青・緑・橙・桃 （色の指定をお願いします）
7	絵付用白木こけし		1本	470円		白木地のこけし
8	火おこし用板		1枚	680円		発火穴14カ所
9	火おこし用火きりぎね		1個	90円		麻ひも付
10	翼を持った種セット		1袋	340円		4種類入
11	木工瞬間接着剤		1個	490円		3g入
12	ホットボンド用スティック		1セット		50円	3本入
13	ラッカースプレー		1本	1000円		300mL
14	風づくりセット		1セット		610円	竹ひご90cm×5本・糸20m・紙500mm×750mm
15	万華鏡セット		1人分	370円		
16	オリジナルパラソルづくりセット		1人分	510円		かさ1本・カッティングシート3枚（5人以上から注文可）
17	中性洗剤		1本	250円		300mL
	クレンザー		1本	110円		400g
	ふきん		1枚	100円		おしぼりタオル
	スポンジ		1個	100円		
18	野外トイレ用処理袋		1枚	260円		野外トイレ用（未使用の場合返品可能）
19	おねしょシート		1枚	100円		返品不可
20	切手・はがき・乾電池・コピー用紙			※		※料金については、自然の家食堂にお問い合わせください。 ※乾電池については、2週間前までに食事・教材等注文票にてご注文ください。

No.	品名	単位	単価	セット価格	内容
21	指定ごみ袋	1枚	30円		
22	コピー・ファックスサービス(食堂)	1枚	20円		

【教材費】

ご利用の1ヶ月前までに自然の家食堂に注文してください。

- ① 荒天時はキャンセル可：No.1 ～ No.4（ただし、水や油で濡れたものについては不可）
- ② 晴天時はキャンセル可：No.5 ～ No.15
- ③ 数量の変更は、1週間前までです。
- ④ 準備の都合がありますので、必ず「食事・教材等注文書」（P50）に記入してください。
- ⑤ その他希望の品物がありましたら自然の家食堂（P31）にお問い合わせください。

7. 寝具類汚損に関するクリーニング料金

寝具類を汚損してしまった場合は、団体負担になります。

- ① シーツ・枕カバーの汚損は、通常のシーツ等洗濯費用に含まれていますので、別途料金はかかりません。

VIII 物品の貸出しについて

1 貸出しの留意点

- ① 自然の家での活動に必要な物品は、個人や団体で準備するものと自然の家で貸出しするものがあります。各活動に必要な物品は、本手引の「活動プログラム一覧」(P22～)で確認してください。
- ② 利用申込書に記載された活動内容に合わせて自然の家担当者が、必要な物品について事前に代表者と確認し、調整の上準備します。準備した物品は活動当日に、自然の家事務室で貸出しします。利用申込書に貸出物品を記入する必要はありません。

2 貸出しをする前に

個人で・団体で準備するもの

- 活動に適した服装
- 野外活動の装備(デイパック・雨具・軍手・水筒・懐中電灯・タオル・筆記用具等)
- 消耗品(電池・のりやボンド・絵の具・食器洗い用具・ゴミ袋等)
- 食堂購入物品(工作材料や食材等)
- クラフトに必要な採集物(石・枝等)
- 自然の家で十分な数が用意できない場合(ハサミ・カッター・新聞紙等)
- 救急用具

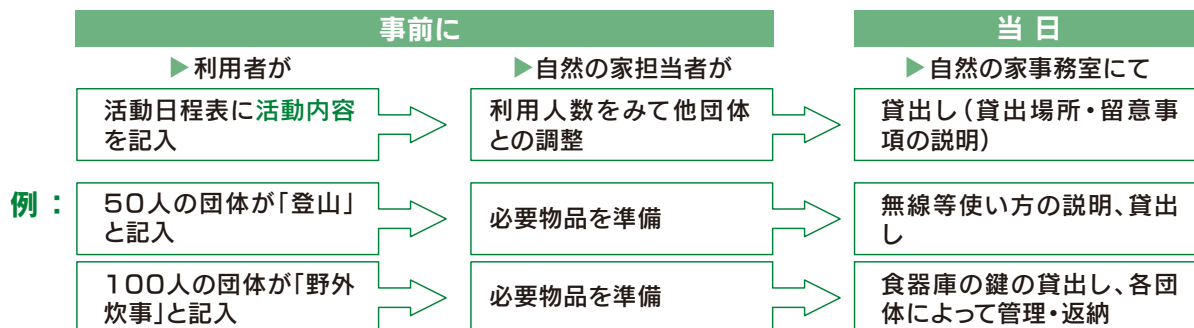
自然の家で貸出すとき

- 活動内容・人数に合わせて貸出物品を準備します。

よくお問い合わせのある、野外炊事の食器洗い用洗剤やスポンジ、キャンプファイヤーの火の精のコスチュームや点火用のトーチは、個人・団体の準備となります。

3 具体的な物品貸出しの流れ

活動実施までの物品貸出しの流れ



注無線の貸出しについて以下の点をふまえてご活用ください。

- 貸出し台数は、1団体1台までとなります。
- 緊急対応時を除き、以下のことをご遠慮ください。
 - ・他団体との交信
 - ・プライバシーに関する交信

IX 貸出用教材・教具一覧

用 具		数	用 具		数	
自然観察的活動	双眼鏡	60個	レク・ゲーム的活動	雪合戦用具一式	1セット	
	星座早見盤	300個		スノーソー	6個	
	天体望遠鏡	4台		スコップ	10個	
	水質検査一式	10セット		バケツ	20個	
	(バックテスト、試験管、ピーカー、フラスコ、アルコールランプ等) ③アルコールは利用者で用意			カブラ	3箱	
	水生生物調査一式	15セット		手持ち燭台大	5本	
	(採集ネット、バット、ミルカップ、ルーペ、ピンセット、資料等)			手持ち燭台小	500本	
	土壌観察調査一式(検土杖、ルーペ、ピンセット、バット等)	5セット		中央燭台	6台	
	各種図鑑(樹木・植物・野鳥・星座・水生生物等)	各18冊		館内追跡ゲーム用具	2セット	
	小魚用ネット	50個		ギター	2本	
	ミルカップ	25個		ピアノ	2台	
	漁網(たも)	30個		キーボード	1台	
	フィールドスコープ	5個	創作活動	チャレンジランキング用具一式	4セット	
	ファープル顕微鏡	5個		(割りばし、ペットボトル、空き缶、ストップウォッチ、万歩計、豆移し用豆等)		
	ルーペ	30個		焼き板用ブラシ		280本
プラスチックバット	40個	火ばさみ		170本		
ピーカー	10個	こけしの絵付用具一式		200人分		
ピンセット	150個	紙すき用具一式		50組		
メジャー	6個	火おこし用具		20個		
バインダー	60個	カッター		50本		
野外活動	野外炊事用具一式	570人分 本館 370 キャンプ場 200		はさみ	30本	
	(鍋、釜、鉄板、包丁、まな板、しゃもじ、おたま、さいばし、ボール、ざる、食器類等)			グルーガン	20台	
	運搬用かご	60個	のこぎり	5丁		
	もちつき用具一式(臼、杵、せいろ、せいろ用蓋等)	3セット	なた	10丁		
	キャンプ用具一式	約170人分	小刀	30丁		
	(テント6～8人用、寝袋、マット、ランタン、野外炊事用具一式等) ③詳細はP15をご覧ください。		絵筆	100本		
	電池ランタン(電池は単1を4本使用、利用者で用意)	30個	パレット	30個		
	シルバコンパス	80個	絵具バケツ	30個		
	カンテラ(ろうそくは利用者で用意)	40個	きり	70本		
	ゼッケン(赤、黄、青、緑各No.1～No.50)	200枚	視聴覚関係	プロジェクター	4台	
	ハンドマイク	2本		ブルーレイディスクプレーヤー	2台	
	営火台(内、1台はキャンプ場)	6台		移動スクリーン	2台	
	ヘッドライト(電池は単3を4本使用、利用者で用意)	20個		DVDデッキ	3台	
	ライフジャケット(小)	170着		CDラジカセ(内1台はキャンプ場)	4台	
	ライフジャケット(大)	300着		アンプ(ワイヤレスマイク2本付)	6台	
ヘルメット	500個	延長コード(30m・6A)室内用		3本		
レスキューロープ	8本	延長コード(30m・6A)室外用		4本		
冬季野外活動	簡易トイレ	4個	屋内スポーツ活動	卓球用具一式	3台分	
	熊鈴	140個		バトミントン用具一式	2コート分	
	ランタン	30個		バレーボール用具一式	1コート分	
	色合わせカード	45枚		バスケットボール用具一式	1コート分	
	歩くスキー	130組		一輪車	8台	
	アルペンスキー	240組		縄跳び用ロープ	10本	
	かんじき(輪かんじき)	50足		綱引き用ロープ	1本	
	そり	50台		Xロープセット	4セット	
	スコップ	10個	スノーボードその他	デジタル得点板	1台	
	スパッツ	120足		ベタンク	1セット	
	スノーシュー(幼児用)	20足		スカットボール/スマイルボウリング	各2セット	
	スノーシュー(中)	20足		キンボール	1セット	
	スノーシュー(大)	30足		その他	電気ポット	6台
	スノーブーツ	40足			湯茶セット	3セット
	スノーチューブ	15個				

X 朝・夕べのつどい進行表

あさ
【朝のつどい】

○7:15 つどいの開始

し かい しんこう
司会が進行する

- 「起立してください。おはようございます。▲月◆◆日●●曜日。朝のつどいを始めます。
私は、本日のつどいの司会進行を担当します○○○○（学校名・団体名）の△△（名
前）です。よろしくお願いします。」

「まず、はじめに、国旗と所旗の掲揚を行いますので、旗にご注目ください。帽子をかぶっ
ている方は脱帽してください。」

④横向きの際は、国旗掲揚塔に注目するよう話す。

④自然の家職員が手を挙げて合図。音楽が流れ、国旗および所旗が掲揚される。

- 「それでは、本日旗の掲揚をお手伝いしてくれたみなさんに自己紹介をお願いします。
一人一人の自己紹介が終わりましたら、大きな拍手をお願いします。」

（自己紹介が終了したら）

- 「ありがとうございました。旗係のみなさんに、もう一度大きな拍手をお願いします。」
□ 拍手が鳴りやむ頃、旗係に自分の席に戻るよう話す。

- 「これより団体の紹介、活動の紹介を行います。各団体の紹介をしていただく方は、前
に出て一列に並んでください。また、みなさんは腰を下ろしてください。」

④雨上がり、服装、高齢者のいる場合など適切に判断する。

④発表者を誘導して一列に並ばせる。

- 「準備が整いました。マイクを渡しますので団体のご紹介をお願いします。代表の方が
マイクを持ちましたら、その団体のみなさんは、その場で起立してください。また、
発表が終わりましたら大きな拍手をお願いします。」

④団体の発表が終わったら座ってもらい、次の団体に起立してもらう。

- 全ての団体紹介が終わったら、「代表で紹介して下さったみなさんにもう一度大きな
拍手をお願いします。」

- 拍手が鳴りやむ頃、発表者に、自分の席に戻るよう話す

- 「次は、ラジオ体操です。体操の出来る隊形に広がってください。」

④自然の家職員の合図で、ラジオ体操の音楽を流す。

- 「ありがとうございました。元の隊形に戻ってください。」

- 「それでは、ここから自然の家の職員の方に進行をお願いします。」

し ぜん いえしよくいん はなし
自然の家 職員の話

- 「ありがとうございます。本日、つどいの進行をしてくれた○○さんにもう一度盛大な
拍手をお願いします。」

（ここで、連絡事項を自然の家から伝えます。）

- 「以上をもちまして朝のつどいを終わります。このあとは各団体の指示に従って解散して
ください。ご協力ありがとうございました。」

【夕べのつどい】

○ 17 : 00 つどいの開始

司会が進行する

- 「起立してください。こんばんわ。▲月◆◆日●●曜日。夕べのつどいを始めます。私は、
本日のつどいの司会進行を担当します○○○○（学校名・団体名）の△△（名前）です。
よろしくお願ひします。」

「まず、国旗と所旗の降納を行いますので、国旗と所旗に注目してください。帽子をか
ぶっている方は脱帽してください。」

※横向きの際は、国旗掲揚塔に注目するよう話す。

※帽子をかぶっている人がいたら、脱帽するようにアナウンスする。

※自然の家職員が手を挙げて国歌「君が代」再生の合図。

- 「ありがとうございました。旗をたたんで頂きますので、しばらくお待ちください。」

※たたんだ旗を自然の家職員が所旗・国旗の順にあずかる。国旗は所旗の下にしない。

- 「それでは、本日旗の降納をお手伝いしてくれたみなさんに自己紹介をお願いします。
一人一人の自己紹介が終わりましたら、拍手をお願いします。」

（自己紹介が終了したら）

- 「ありがとうございました。旗係のみなさんに、もう一度大きな拍手をお願いします。」

- 拍手が鳴りやむ頃、旗係に自分の席に戻るよう話す。

- 「これより団体の紹介、活動の紹介を行います。各団体の紹介をしていただく方は、前
に出で一列に並んでください。また、みなさんは腰を下ろしてください。」

※雨上がり、服装、高齢者のいる場合など適切に判断する。

※代表者を誘導して一列に並ばせる。

- 「準備が整いました。マイクを渡しますので団体のご紹介をお願いします。代表の方が
マイクを持ちましたら、その団体のみなさんは、その場で起立してください。また、
発表が終わりましたら大きな拍手をお願いします。」

※団体の発表が終わったら座ってもらい、次の団体に起立してもらう。

- 全ての団体紹介が終わったら、「代表で紹介してくださったみなさんにもう一度大きな
拍手をお願いします。」

- 拍手が鳴りやむ頃、発表者に、自席に戻るよう話す。

- 「それでは、ここから自然の家の職員の方に進行をお願いします。」

自然の家職員の話

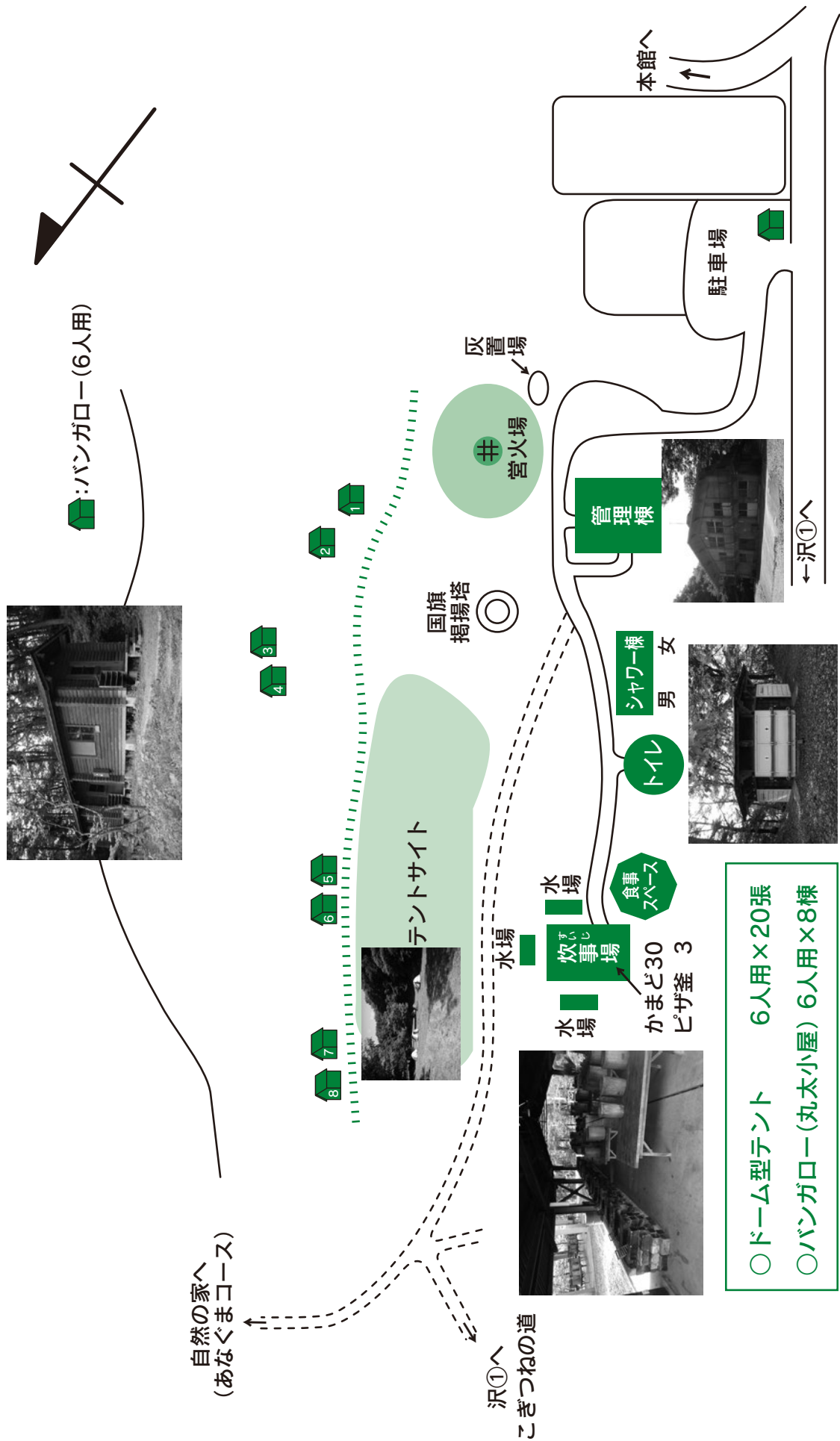
- 「ありがとうございます。本日、つどいの進行をしてくれた○○さんにもう一度盛大な
拍手をお願いします。」

（ここで、連絡事項を自然の家から伝えます。）

- 「以上をもちまして夕べのつどいを終わります。このあとは各団体の指示に従って解散し
てください。ご協力ありがとうございました。」

資料

キャンプ場見取図



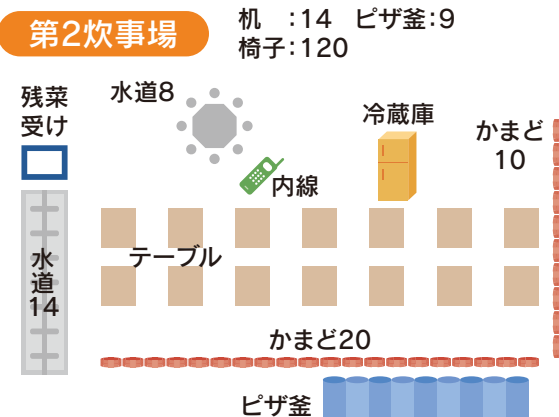
施設周辺見取図

工作館

かまど	: 8
簡易かまど	: 4
ピザ釜	: 6
水道	: 13
テーブル	: 11



林間かまど:10
(屋根なし)



野外炊事用具庫
(鍋・釜・お皿)

さえずりの道

トイレ

本館

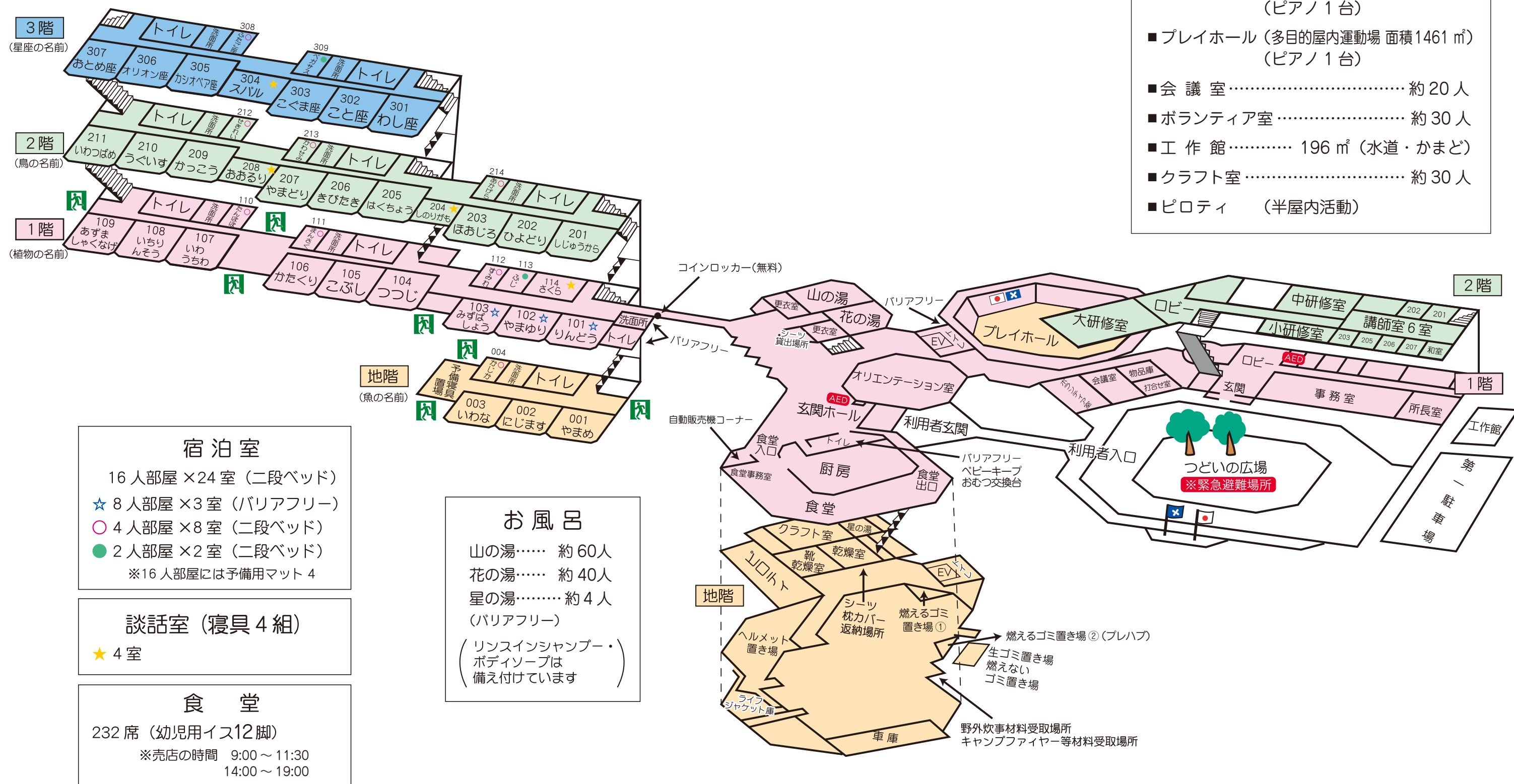


本館配置図

宿泊棟 ←————→ 研修棟
管理棟

主な施設

- 大研修室…………… 約100人
- 中研修室…………… 約40人
- 小研修室…………… 約30人
- オリエンテーション室…………… 約150人
(ピアノ1台)
- プレイホール(多目的屋内運動場 面積1461㎡)
(ピアノ1台)
- 会議室…………… 約20人
- ボランティア室…………… 約30人
- 工作館…………… 196㎡(水道・かまど)
- クラフト室…………… 約30人
- ピロティ (半屋内活動)



宿泊室

16人部屋×24室(二段ベッド)

★8人部屋×3室(バリアフリー)

○4人部屋×8室(二段ベッド)

●2人部屋×2室(二段ベッド)

※16人部屋には予備用マット4

談話室(寝具4組)

★4室

食堂

232席(幼児用イス12脚)

※売店の時間 9:00~11:30

14:00~19:00

お風呂

山の湯…… 約60人

花の湯…… 約40人

星の湯…… 約4人

(バリアフリー)

(リンスインシャンプー・ボディソープは備え付けています)

国立花山青少年自然の家 利用申込書

利用団体

作成日:

フリガナ			
団体名			
フリガナ		電話番号	
代表者名		FAX番号	

担当者(責任者)

フリガナ		電話番号	
氏名		FAX番号	
メールアドレス		携帯電話番号	
郵便番号			
フリガナ			
住所			

利用情報

利用形態区分	☐ 宿泊 ☐ 日帰り	利用経験	☐ あり ☐ なし
利用期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
到着予定時間	時 分	出発予定時間	時 分
施設送迎バス	☐ 必要 ☐ 不要	交通手段	
研修会名			
利用目的	☐ 事前打合せ ☐ 新入生オリエンテーション ☐ 国際交流 ☐ 文化芸術 ☐ その他 ☐ 修学旅行 ☐ 集団宿泊的行事 ☐ 研究集会 ☐ 学習活動 ☐ 部活動 ☐ 青少年教育指導者・関係者研修 ☐ 自然体験 ☐ スポーツ ※「その他」を選んだ場合は、その内容を続けてご記入ください。		
利用希望施設			

日別利用人数

		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目
宿泊利用	館内	男性												
		女性												
	キャンプ場	男性												
		女性												
日帰り利用		男性												
		女性												

利用者詳細(日毎に利用者数が違う場合は、一番人数が多い日に関して記入してください。)

利用者所属		未就学児	小学生	中学生	高校生	中等教育学校生	高等短期大学 専門学校生	専修学校生	特別支援学校生	その他の学生	(指 導 員 ・ 関 係 者 以 外) 社会人29歳以下	(指 導 員 ・ 関 係 者 以 外) 社会人30歳以上	指導員・関係者	合計
宿泊利用	男性													
	女性													
日帰り利用	男性													
	女性													

備考 (学校利用の場合、学年とクラス数の記入をお願いします。)

個人情報の取扱について
本申込書の個人情報は適正に管理し目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。

国立花山青少年自然の家 利用申込書の記入例

利用団体

作成日: 2020年5月1日

フリガナ	ハナヤマセイショウネンショウガッコウ		
団体名	花山青少年小学校		
フリガナ	ハナヤマ イチロウ	電話番号	0000-00-0000
代表者名	花山 一郎	FAX番号	0000-00-1111

担当者(責任者)

フリガナ	ハナヤマ タロウ	電話番号	0000-00-0000
氏名	花山 太郎	FAX番号	0000-00-1111
メールアドレス	hanayama-@〇〇.ne.jp	携帯電話番号	000-000-0011
郵便番号	999-9999		
フリガナ	ミヤギケン〇〇シ〇〇1チョウメ		
住所	宮城県〇〇市〇〇1丁目		

利用情報

利用形態区分	☒ 宿泊 ☐ 日帰り	利用経験	☒ あり ☐ なし
利用期間	2020年 6月 4日 ~ 2020年 6月 6日		
到着予定時間	9時 30分	出発予定時間	13時 30分
施設送迎バス	☐ 必要 ☒ 不要	交通手段	貸切バス
研修会名	5学年 宿泊学習		
利用目的	☐ 事前打合せ ☐ 修学旅行 ☐ 部活動 ☐ 新入生オリエンテーション ☐ 集団宿泊的行事 ☐ 青少年教育指導者・関係者研修 ☐ 国際交流 ☐ 研究集会 ☒ 自然体験 ☐ 文化芸術 ☐ 学習活動 ☐ スポーツ ☐ その他		
利用希望施設	※「その他」を選んだ場合は、その内容を続けてご記入ください。		

日別利用人数

		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目
宿泊利用	館内	男性	51	51										
		女性	43	43										
	キャンプ場	男性												
		女性												
日帰り利用	男性		1											
	女性		1											

利用者詳細(日毎に利用者数が違う場合は、一番人数が多い日に関して記入してください。)

利用者所属	未就学児	小学生	中学生	高校生	中等教育学校生	高等短期大学・専門学校生	専修学校生	特別支援学校生	その他の学生	(指導員・関係者以外)	(社会人29歳以下)	(社会人30歳以上)	指導員・関係者	合計
宿泊利用	男性	48											3	94
	女性	40											3	
日帰り利用	男性												1	2
	女性												1	

備考 (学校利用の場合、学年とクラス数の記入をお願いします。)

5学年 3クラス 2日目は、日帰りで2人の先生が参加します。

個人情報の取扱について

本申込書の個人情報は適正に管理し目的以外の利用や第三者への情報提供は行いません。

表 程 日 働 活

团体名称:

連絡担当者:

提出日:

田
氏
姓

生活時間		朝のつどい (7:15～) 朝食 (7:30～9:00) 昼食 (12:00～13:30) 夕飯 (17:30～19:00) 入浴(18:30～21:50) 消灯 (22:00)																							
		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22								
時間帯	月 日 ()	本館 ・ キャンプ場	晴天時																	男	宿泊者数	日帰り数	備 考		
			希望活動場所																	女			食堂の利用		
			雨天時																	計			講師の依頼		
			希望活動場所																	有			無		
時間帯	月 日 ()	本館 ・ キャンプ場	晴天時																	男	宿泊者数	日帰り数	備 考		
			希望活動場所																	女			食堂の利用		
			雨天時																	計			講師の依頼		
			希望活動場所																	有			無		
時間帯	月 日 ()	本館 ・ キャンプ場	晴天時																	男	宿泊者数	日帰り数	備 考		
			希望活動場所																	女			食堂の利用		
			雨天時																	計			講師の依頼		
			希望活動場所																	有			無		
時間帯	月 日 ()	本館 ・ キャンプ場	晴天時																	男	宿泊者数	日帰り数	備 考		
			希望活動場所																	女			食堂の利用		
			雨天時																	計			講師の依頼		
			希望活動場所																	有			無		

※「活動日程表の記入例」をご参照の上、ご記入ください。

※ご利用日の1カ月前までにご提出ください。(利用団体数によっては、ご希望に添えない場合もあります。)

国立花山青少年自然の家

活動日程表の記入例

団体名：花山青少年小学校

連絡責任者：花山 太郎

提出日：2020年5月1日

6月4日(水)		晴天時 希望活動場所 本館 ・ キャンプ場	御駒山ハイキング(持参弁当)																22 就寝	51男	0	食堂の利用 朝 昼 夕		講師の依頼 有 無 星座観察の講師依頼 をお願いします。
			第二野外炊事場 つどいの広場																					
6月5日(木)		晴天時 希望活動場所 本館 ・ キャンプ場	オリエンテーション室																22 就寝	51男	1	食堂の利用 朝 昼 夕		講師の依頼 有 無
			すりばち広場																					
6月6日(金)		晴天時 希望活動場所 本館 ・ キャンプ場	大研修室 プレイホール 大研修室																22	51男	2	食堂の利用 朝 昼 夕		講師の依頼 有 無
			すりばち広場																					

～留意事項～

- ① 各団体の活動希望場所が重なった場合、活動内容、場所の調整をお願いする場合があります。特にプレイホール希望が多い場合や、同時刻に多くの研修場所利用を希望される場合は、調整にご協力願います。
- ② 食事、入浴時間は代表者の打合せで調整を行います。(打合せ16:20～)
- ③ 活動内容の上に時間を記入してください。
- ④ 雨天時のプログラムも必ず記入してください。
- ⑤ 提出期限(利用日の1カ月前)までに利用申込書と一緒に提出ください。

※期限までに提出いただけない場合、ご希望に添えない場合があります。

⑥ 希望活動場所がございましたらご記入ください。(下記をご参照の上、ご記入ください。)

屋内研修室名	定員	備考	屋外活動場	定員	備考
大研(大研修室)	100名	机、イス移動可	すりばち広場		営火場有
中研(中研修室)	40名	机、イス移動可	冒険広場		営火場2箇所有
小研(小研修室)	30名	机、イス移動可	見晴らし広場		営火場有
オリエンテーション室	150名	カーペット敷き	星空広場	160名	営火場有
プレイホール	300名	スポンツ全般	第一野外炊飯場	120名	かまど40
会議室	20名	机、イス設置済	第二野外炊飯場	50名	かまど30
クラフト室	30名	各種工具有	工作館		かまど8
ボランティヤ室	30名	机、イス移動可	ぴろデイ		半屋内活動
			つどいの広場		本館正面
			冒険の森		PA ロープコース

※ご記入がない場合は、こちらで調整させていただきます。

国立花山青少年自然の家 利用者一覧表

利用期間 月 日から 月 日

利用団体名				
引率責任者	氏名		緊急連絡先 (携帯番号)	

番号	名前	性別	年齢 または 学年	指導者は チェック	番号	名前	性別	年齢 または 学年	指導者は チェック
1				☐	31				☐
2				☐	32				☐
3				☐	33				☐
4				☐	34				☐
5				☐	35				☐
6				☐	36				☐
7				☐	37				☐
8				☐	38				☐
9				☐	39				☐
10				☐	40				☐
11				☐	41				☐
12				☐	42				☐
13				☐	43				☐
14				☐	44				☐
15				☐	45				☐
16				☐	46				☐
17				☐	47				☐
18				☐	48				☐
19				☐	49				☐
20				☐	50				☐
21				☐	51				☐
22				☐	52				☐
23				☐	53				☐
24				☐	54				☐
25				☐	55				☐
26				☐	56				☐
27				☐	57				☐
28				☐	58				☐
29				☐	59				☐
30				☐	60				☐

この注文書は利用日の1か月前までに直接食堂事務室にFAX、メールまたは郵送でお送りください。

●野外炊事、教材等については別紙一覧表を参照の上記入してください。

【変更について】

●定食の数の変更は、利用日前日の15時までにご連絡ください。

●野外炊事、弁当類、一部教材の変更は7日前までにご連絡ください。

●おにぎり弁当の変更は3日前の午前11時までにご連絡ください。

※上記期日以降はキャンセル料金が発生します。

【アレルギー対応について】●食物アレルギー対応が「有」の場合、別紙アレルギー連絡票の送付もお願いいたします。

食事・教材等の注文や変更については、すべて食堂にお申し出ください。

国立花山青少年自然の家食堂

唱食泰社会式基

電話 (0228)56-2162

FAX (0228)56-2402

Ex-11 hanayama@kotobuki-gr.co.jp

食事時間

朝食	7:30~9:00
昼食	12:00~13:30
夕食	17:30~19:00

食物アレルギー対応連絡票

利用日 月 日 ~ 月 日 団体名
責任者名 TEL/FAX

記入方法: アレルギ―原因食品と除去の程度の欄に○でご記入ください。
*その他のアレルギーがある場合、空欄に原因食を記入してください。
*複数のアレルギー原因食品があり、食品毎に除去の程度が違う場合、備考欄に記入してください。

ご利用日の14日前までに食堂へFAX(0228-56-2402)で提出ください。書類提出後、必要に応じて担当者から連絡する場合があります。

番号	氏名	アレルギー原因食材						原因食品の除去の程度				その他のアレルギー	備考
		卵	乳	小麦	そば	落花生	えび	かに	完全除去	加熱可	つなぎ可	調味料可	
1													
2													
3													
4													
5													
6													

保管期間 年 月 日まで

食物アレルギー対応連絡票

利用日

〇 月 〇 日 ~ 〇 月 〇 日

団体名

〇〇〇小学校

責任者名

TEL/FAX

TEL: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
FAX: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

記入方法: アレルギー原因食品と除去の程度の欄に○でご記入ください。

*その他のアレルギーがある場合、空欄に原因食を記入してください。

*複数のアレルギー原因食品があり、食品毎に除去の程度が違う場合、備考欄に記入してください。

ご利用日の14日前までに食堂へFAX(0228-56-2402)で提出ください。書類提出後、必要に応じて担当者から連絡する場合があります。

番号	氏名	アレルギー原因食材							原因食品の除去の程度				その他のアレルギー	備考	
		卵	乳	小麦	そば	落花生	えび	かに	完全除去	加熱可	つなぎ可	調味料可			
1	〇〇〇〇〇	〇	〇						〇						
2	〇〇〇〇〇〇	〇							〇	〇	〇				
3	〇〇 〇〇	〇	〇						〇		〇			卵は完全除去、乳はつなぎ可	
4															
5															
6															

保管期間 年 月 日まで

FAX
0228-56-2469

国立花山青少年自然の家 利用取消連絡票

年 月 日

国立花山青少年自然の家所長 様

団体名 _____

代表者名 _____

担当者名 _____

住所 _____

電話番号 _____

予約期間

年 月 日() ~ 年 月 日()

予定利用人数

人

下記の理由により、貴施設の利用を取消します。(当てはまる項目をチェックしてください。)

- ☐ 参加人数が集まらなかったため(事務局運営上の都合)
- ☐ 別の行事と重なっていたため(参加者の都合)
- ☐ 天候の影響(台風・大雪等)のため
- ☐ インフルエンザ等の流行性感冒の影響
- ☐ その他 (下記に詳細をご記入ください。)

電話番号一覧

(1) 国立花山青少年自然の家関係

本館(予約、利用のお問い合わせ)	宮城県栗原市花山	TEL 0228(56)2311 FAX 0228(56)2469
キャンプ場		TEL 0228(56)2338 (利用団体滞在時のみ)
国立花山青少年自然の家食堂及び売店 株式会社 寿食品(本館内)	営業時間 (食堂)P9標準生活時間参照 (売店)9:00~11:30/14:00~19:00	TEL 0228(56)2162 FAX 0228(56)2402
南蔵王野営場	宮城県白石市	TEL 0224(24)8126 FAX 0224(24)8128

(2) 官公署

栗原市の官公署	栗原市役所	0228(22)1122
	花山総合支所	0228(56)2111
	築館警察署	0228(22)1101
	花山駐在所	0228(56)2133
	栗原市消防本部	0228(22)1191
	栗原消防署西出張所	0228(54)2120

(3) 近隣施設

主な文化施設	石楠花センター	0228(56)2331	主な温泉施設	新湯温泉 くりこま荘	0228(46)2036
	花山ふるさと交流館	0228(43)5111		文字温泉 門壽屋	0228(47)2024
	自然薯の館(道の駅)	0228(56)2265		ハイルザーム栗駒	0228(43)4100
	細倉マインパーク	0228(55)3215		花山温泉 温湯山荘	0228(56)2040
	宮城県こもれびの森 森林科学館	0228(56)2330			090-8925-0204
	花山ダム	0228(56)2233	湯浜温泉 三浦旅館	冬季0228(52)4396	
	剣豪・千葉 周作ゆかりの家	0228(56)2656	主なスキー場	上野マスキー場	0229(83)3650
	花山青少年旅行村	0228(56)2101		オニコウベスキー場	0229(86)2111
	栗駒山麓ジオパークビジターセンター	0228(24)8836		やまがた赤倉温泉スキー場	0233(45)2901

(4) 交通機関

●JR

(間)JR東日本お問い合わせセンター ①	050(2016)1600
----------------------	---------------

●バス

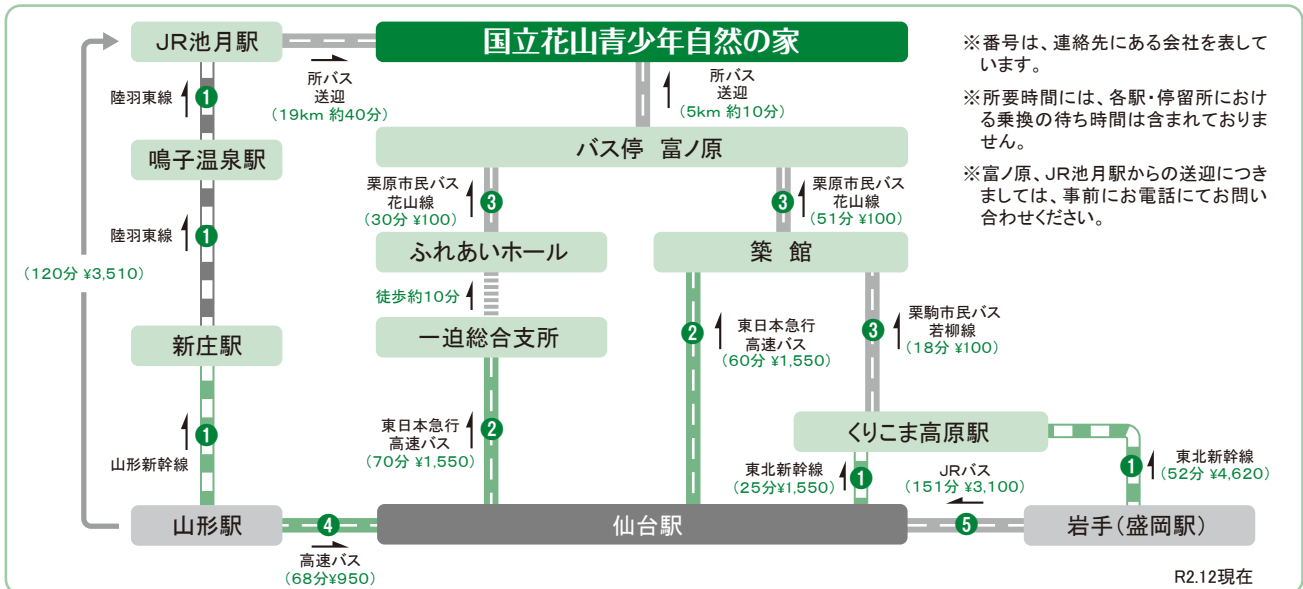
東日本急行(株) ②	022(218)3131
グリーン観光バス ③	0228(23)7011
山交バス株式会社 ④	023(647)5171
JRバス東北 ⑤	019(624)4474
(株)ミヤコーバス[路線バス]	0228(22)2250

●レンタカー

JR駅レンタカーくりこま高原営業所	0228(22)7163
トヨタレンタリース宮城くりこま高原駅前店	0228(21)2100

●タクシー

栗原観光タクシー(有)一迫営業所	0228(52)2233
山口タクシー(有)	0228(54)2319



(5) 主な近隣病院

病院名	電話番号	診療科目	血清の保管	アナフィラキシー症状への対応	自然の家から車での移動時間(目安)
栗原市立花山診療所	0228(56)2013	内科、眼科	●	●	約10分
一迫内科クリニック	0228(52)2122	内科、胃腸科			約25分
たまがけ医院	0228(52)5115	内科、外科、胃腸科、皮膚科、泌尿器科			約25分
宮城島クリニック	0228(52)2881	内科、外科、胃腸科、整形外科、肛門科			約25分
くろさわ整形外科	0228(52)2627	整形外科			約25分
栗原市立栗駒病院	0228(45)2211	総合病院	●	●	約30分
栗原市立栗原中央病院	0228(21)5330	総合病院	●	●	約35分
大崎市民病院	0229(23)3311	総合病院	●	●	約60分

※1 血清の保管、ハチ刺症によるアナフィラキシー症状への対応も確認しています。

※2 医療機関から遠距離のため、万が一に備えて必ず緊急車両を1台以上ご準備ください。医療機関までの分かりやすい地図を用意しております。

活動ガイドマップ



アクセス



公共交通機関ご利用の場合

くりこま高原駅 バス 約15分 → 築館 (乗換え) → (終点) 富ノ原 送迎車 約10分 → 国立花山青少年自然の家
 仙台 高速バス 約1時間 → 築館 (乗換え) → (終点) 富ノ原 送迎車 約10分 → 国立花山青少年自然の家
 ※送迎については事前にご相談ください。

自家用車ご利用の場合

東北自動車道
 若柳金成インター → 築館インター → 古川インター → 国立花山青少年自然の家
 約30km



国立花山青少年自然の家



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立花山青少年自然の家

〒987-2593 宮城県栗原市花山字本沢沼山61-1
 TEL (0228) 56-2311
 FAX (0228) 56-2469
 Eメール: hanayama@niye.go.jp
 HP: https://hanayama.niye.go.jp/



【公式】YouTubeチャンネル:
<https://www.youtube.com/channel/UCn-FCGyaKRajPPoR7zvT0jQ>



南蔵王野営場

〒989-0731 宮城県白石市福岡深谷字白萩山39
 TEL (0224) 24-8126 FAX (0224) 24-8128

子どもゆめ基金



子どもゆめ基金は、子どもの体験活動・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金です。

- 助成を受けたい方、毎年9月中旬～12月上旬が募集期間となっております。
- 各都道府県の公共施設等にポスターを掲示するほか、子どもゆめ基金ホームページに募集告知をしますので、詳しいことは子どもゆめ基金部助成課までお問い合わせください。



再生紙を使用しています。